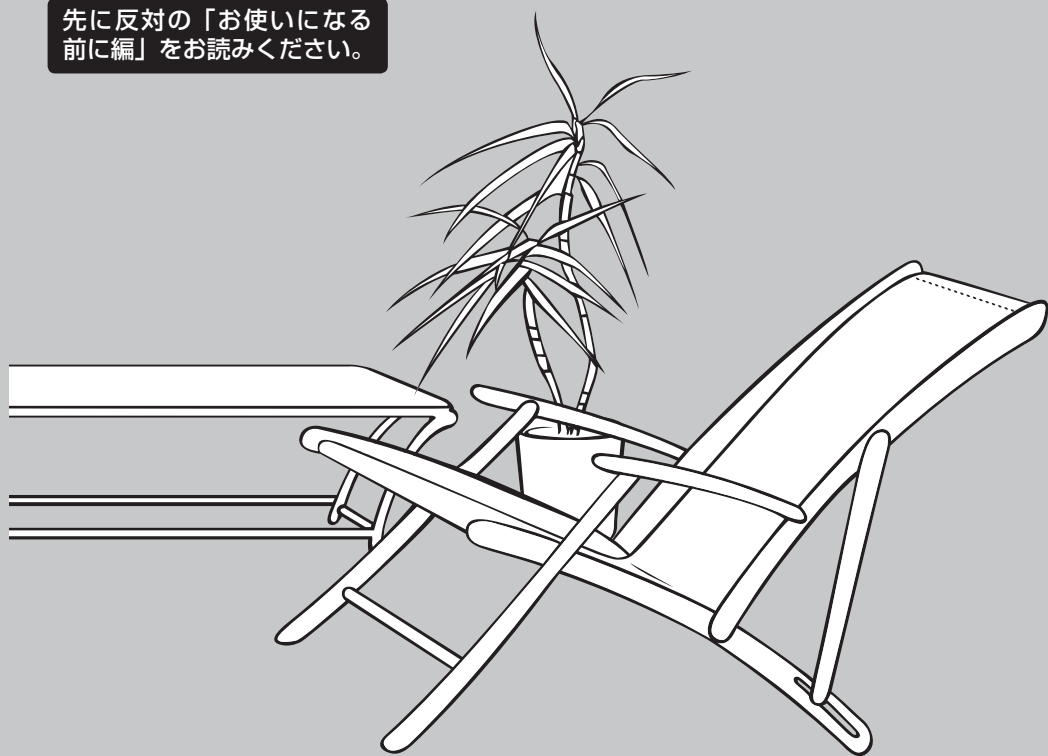
KENWOOD

コンパクトハイファイコンポーネントシステム

UD-A55
RD-UDA55

取扱説明書（操作編）

先に反対の「お使いになる前に編」をお読みください。

◉メモリカードスロット搭載

パソコンを使用しなくても、簡単操作でメモリカードへ録音できます。
大容量のメモリカードを用意すれば、たくさんのCDなどをどんどん録音でき、お部屋もすっきり。
入れ替える必要もないので手間なく音楽を楽しめます。

◉ケンウッド製 デジタルオーディオプレーヤーと連動

ケンウッドのデジタルオーディオプレーヤーを接続※すれば本機のリモコンで操作が思いのままに行えます。
デジタルオーディオプレーヤーの曲をより良い音で楽しめるほか、簡単操作で録音も可能。
家でも外出先でも楽しみ方が広がります。

圧縮された音楽も高音質に再生する

◉SUPREME機能

MP3やWMAの圧縮によって失われた高音域を推測、補間することで限りなく原音に近いリアルなサウンドを甦らせる、ケンウッド独自の技術です。
圧縮された音楽もワンランク上の音質で。

◉7バンドイコライザー搭載

本格的な7バンドイコライザーで、重低音域から超高音域までの音質を調整できます。ジャンルやお好みに合わせて調整した設定は3種類まで登録できます。

その他の便利な機能

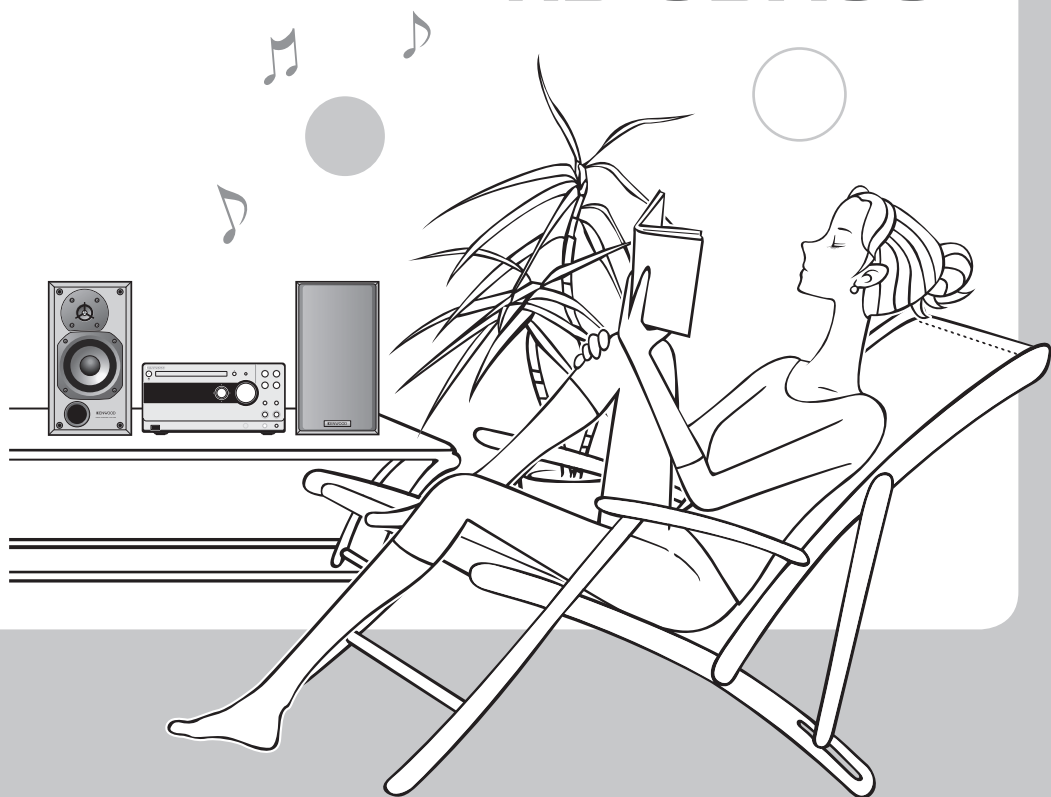
- ■ ワンタッチエディット録音
- ■ おやすみタイマー
- ■ タイマー録音、再生

※D-AUDIO IN端子への接続には専用ケーブル PNC-150が必要です。

パソコンいらずで簡単、快適！

すぐに始まる、楽しみ方広がる

コンパクトハイファイ
コンポーネントシステム

UD-A55
RD-UDA55

こんなことができます

もくじ（操作編）

USBオーディオプレーヤーを使って

メモリカードで

聞く

本機/リモコンで操作が可能
曲を聞く………………………… 6
繰り返し聞く
（リピート再生）…………… 13
お好みの音質で聞く………… 18

録り貯めた曲を楽しむ
曲を聞く………………………… 7
繰り返し聞く
（リピート再生）…………… 13
イントロで曲を探す
（イントロスキャン）……… 16
お好みの音質で聞く………… 18

録音する

録音も簡単操作でOK
CDの曲を録音する
（全曲、1曲、好きな曲）… 26
メモリカードから
USBオーディオプレーヤーへ
転送する …………………… 30

どんどん録り貯めて楽しめる
CDの曲を録音する
（全曲、1曲、好きな曲）… 28
ケンウッド製デジタルオーディオ
プレーヤーの曲を録音する … 32
ラジオ（FMまたはAM）を録音する … 34
外部入力（AUX）から録音する … 34

編集する

編集も思いのまま
曲を消す……………………… 36
文字入力のしかた…………… 38
名前の変更…………………… 40

簡単編集機能
曲を消す……………………… 36
文字入力のしかた…………… 38
名前の変更…………………… 40

もっと使いこなす

タイマーを使う……………… 42
おやすみタイマーを設定する…… 47
TOOLからワンタッチ
エディット録音する……… 48
外部機器の入力レベルを調整する …… 50
USBオーディオプレーヤーまたは
メモリカード内のフォルダ数、
曲ファイル数を確認する …… 51
リフレッシュ機能で
フォルダを整理する…… 52
曲をもっと録り貯めるには …… 53
ディスプレイ表示切り換え …… 54

録音の設定をする

録音モードを設定する……… 56
録音スピードを設定する…… 57
録音入力を設定する………… 57
録音レベルを調整する……… 58
トラックマークの
付け方を設定する…… 59
トラックマークの間隔を
設定する…… 60
録音時に曲名などを
コピーするか設定する…… 61

先に反対の「お使いになる前に編」をお読みください。

困ったときは

メッセージ表示一覧………… 70
マイコンをリセットするには … 71
故障かな？と思ったら……… 72
用語集………………………… 75

CDで

いつものCDも聞き方を変えて

曲を聞く…………………………… 8
順不同に聞く（ランダム再生）…… 12
繰り返し聞く（リピート再生）…… 13
好きな曲を好きな順序で聞く（プログラム再生）……… 14
お好みの音質で聞く…………… 18

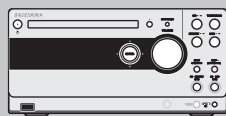
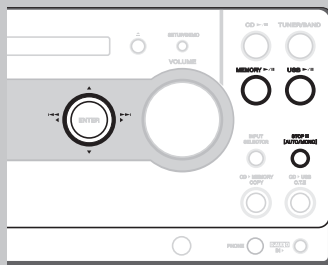
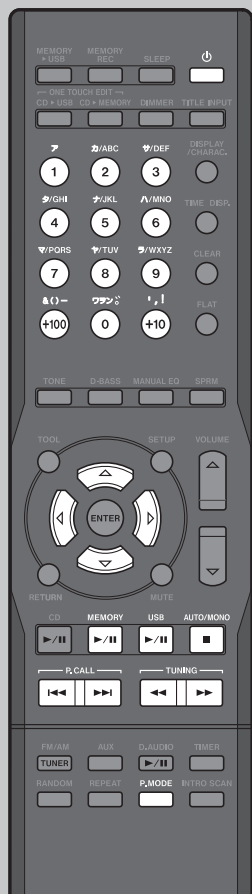
ラジオで、外部入力で

外部機器の曲を聞く（AUX接続）……………… 9
ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーの曲を聞く……… 11
お好みの音質で聞く………… 18
ラジオを聞く………………… 20
放送局を記憶させる………… 22

音質の設定をする

低音を強調する……………… 62
低音と高音を調整する……… 63
お好みの音質を登録する…… 64
より原音に近い音で楽しむ… 65
スピーカーの左右バランスを変更する… 65

本機の設定をする

ディスプレイの明るさを調整する…… 66
メモリカード内のすべてのデータを消去する…… 67
オートパワーセーブ機能を設定する…… 68
時計を合わせる……………… 69

曲を聞く

USBオーディオプレーヤーの曲を聞く

1 再生する

USB

USB ►/II

※曲ファイルのファイル名が表示されます。カナ、英数字にのみ対応しています。それ以外の文字は「＊」と表示されます。

※再生できるデータ形式については、「お使いになる前に編」21ページ参照。

■曲を選ぶ場合は

フォルダまたは曲ファイルを選ぶ。

※選び方は「お使いになる前に編」24ページ参照。

■再生モードを選ぶ場合は

P. MODE

押すごとに切り換わります。

点灯	消灯
フォルダ再生モード（選択したフォルダ内の曲ファイルを再生します）	全曲再生モード（USBオーディオプレーヤー内の全曲ファイルを再生します）

■停止するには

AUTO/MONO ■

STOP ■ [AUTO/MONO]

■一時停止するには

もう一度押すと再開します。

もう一度押すと再開します。

関連機能 繰り返し聞く（リピート再生） P13 イントロで曲を探す（イントロスキャン） P16

メモリカードの曲を聞く

再生する

※曲ファイルのファイル名が表示されます。カナ、英数字にのみ対応しています。それ以外の文字は「＊」と表示されます。

※再生できるデータ形式については、「お使いになる前に編」21ページ参照。

■曲を選ぶ場合は

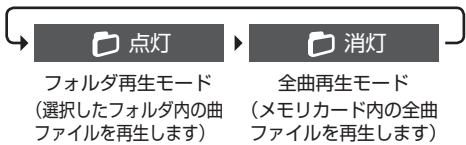
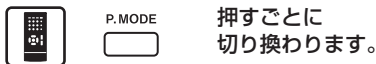
フォルダまたは曲ファイルを選ぶ。

※選び方は「お使いになる前に編」24ページ参照。

■再生モードを選ぶ場合は

P.MODE

押すごとに切り換わります。

点灯	消灯
フォルダ再生モード（選択したフォルダ内の曲ファイルを再生します）	全曲再生モード（メモリカード内の全曲ファイルを再生します）

USBオーディオプレーヤーまたはメモリカードに曲ファイルが入っている場合は、USB ►/II またはMEMORY ►/II を押すだけで本機の電源がONになり、再生が始まります。

再生中に他の音源に切り換えた場合は、再度MEMORY ►/II またはUSB ►/II を押すと切り換える前に再生していた所から再生を再開します。

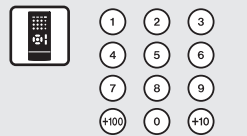
■曲を飛ばすには

■早送り/早戻しするには

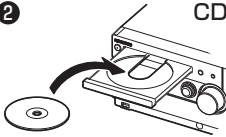
再生中に押し続けます。

再生中に倒し続けます。

■好きな曲から聞くには（リモコンのみ）

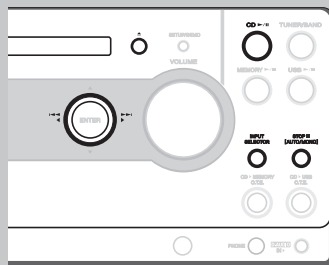
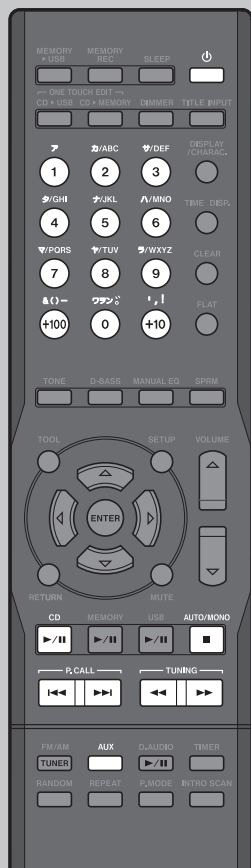
1 2 3 4 5 6 7 8 9 +100 0 +10

F023なら +10 ×2回、3

F102なら +100 、2

お好みの音質で聞く P18 | ディスプレイ表示切り換え P54 | 音質の設定をする P62~P65

曲を聞く
外部機器の曲を聞く（AUX接続）

CDの曲を聞く

1 CDを入れる

❶ トレイを開きます。

❷ CDを入れます。

❸ トレイを閉じます。

※CDを入れると が点灯します。

2 再生する

※CD-TEXT対応のディスクの場合、曲名やアルバム名などの文字情報が表示されます。タイトルが長い場合はスクロール表示されます。英数字にのみ対応しています。それ以外の文字はスペースになります。

※再生できるディスクについては「お使いになる前に編」22ページ参照。

あらかじめディスクが入っている場合は、CD ►/II を押すだけで本機の電源がONになり、再生が始まります。

CDその他の操作方法

※外部機器の曲を聞く（AUX接続）の場合は行えません。

■停止するには

■一時停止するには

もう一度押すと再開します。

もう一度押すと再開します。

関連機能 | 順不同に聞く（ランダム再生） P12 | 繰り返し聞く（リピート再生） P13

外部機器の曲を聞く（AUX接続）

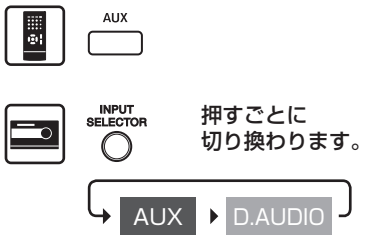
1 接続する

※接続するときは、本機の電源は必ずOFFにして接続してください。（「お使いになる前に編」14ページ参照 ）

※接続する外部機器の取扱説明書も併せてご覧ください。

2 AUX（外部入力）に切り換える

INPUT SELECTOR

押すごとに
切り換わります。

3 再生する

接続した外部機器を再生します。

※同じボリュームでも外部機器の音が、その他の音源より大きく、または小さく感じた場合は入力レベルを調整してください。（50ページ参照）

リモコンのAUXキーを押すだけで本機の電源がONになります。

■曲を飛ばすには

■早送り/早戻しするには

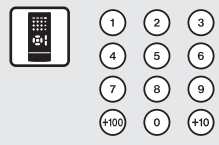
再生中に押し続けます。

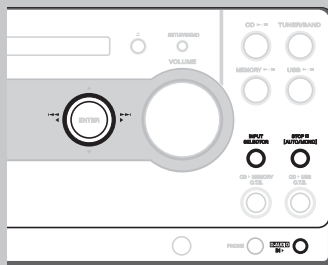
再生中に倒し続けます。

■好きな曲から聞くには（リモコンのみ）

12曲目なら(+10)、(2)

23曲目なら(+10)×2回、(3)

好きな曲を好きな順序で聞く（プログラム再生） P14
お好みの音質で聞く P18
外部機器の入力レベルを調整する P50
ディスプレイ表示切り換え P54

ケンウッド製デジタル オーディオプレーヤーの曲を聞く

ケンウッド製デジタル
オーディオプレーヤー

1 D.AUDIO IN端子に接続する

※別売の専用ケーブル PNC-150を使って接続すると、本機やリモコンでケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーの操作が行えます。

※接続するときは、本機の電源は必ずOFFにして接続してください。(「お使いになる前に編」14ページ参照)

※接続する外部機器の取扱説明書も併せてご覧ください。

再生可能なケンウッド製
デジタルオーディオプレーヤー

HDDオーディオプレーヤー	メモリオーディオプレーヤー
HD20GA7 HD30GA9 HD30GB9	M1GB5/M512B5 M2GC7/M1GC7 M512C5

2006年9月現在

2 ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーの電源を入れる

※専用ケーブル PNC-150で接続している場合のみ行えます。

■停止するには

関連機能 | お好みの音質で聞く P18 | 外部機器の入力レベルを調整する P50

3 再生する

音源が切り換わり
再生が始まります。

押すごとに
切り換わります。

※専用ケーブル PNC-150以外のケーブルで接続している場合は、接続したケンウッド製デジタルオーディオプレーヤー側で操作します。

リモコンのD.AUDIO［►/II］キーを押すだけで本機の電源がONになります。

本機へ接続している間はケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーの音量、音質設定が無効になります。

■一時停止するには

もう一度押すと再開します。

■曲を飛ばすには

■早送り/早戻しするには

再生中に押し続けます。

再生中に倒し続けます。

音質の設定をする P62~P65

順不同に聞く（ランダム再生）
繰り返し聞く（リピート再生）

ランダム再生

1 音源をCDに切り換える

CD

CD ►/II

2 ランダム再生する

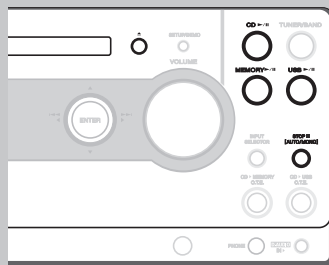
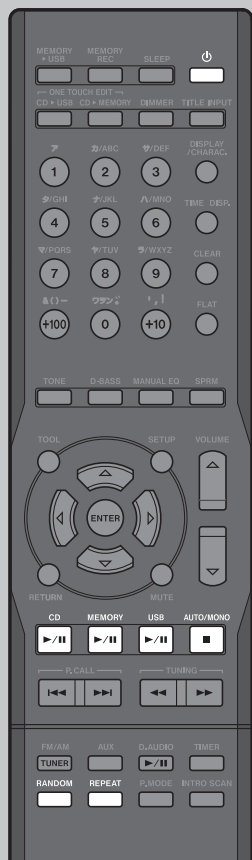
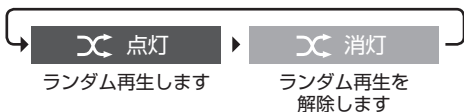
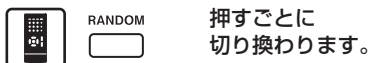
RANDOM

押すごとに
切り換わります。

点灯	消灯
ランダム再生します	ランダム再生を解除します

■ランダム再生モードを解除するには

RANDOM

ランダム再生中に再度RANDOMキーを押して、を消灯させます。

※STOPキーを押しても、ランダム再生モードを解除できます。STOPキーで解除した場合は再生も停止します。

Hint

ランダム再生中にREPEATキーを押すと、ランダム再生がひと通り終わってから、先ほどとは違う順番でランダム再生が始まります。

ランダム再生中は、再生済みの曲へ飛ばすことはできません。

関連機能 好きな曲を好きな順序で聞く（プログラム再生） P14

リピート再生

音源を切り換える

USB ►/II または MEMORY ►/II または CD ►/II

USB ►/II または MEMORY ►/II または CD ►/II

2 リピート再生する

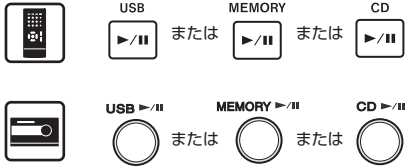
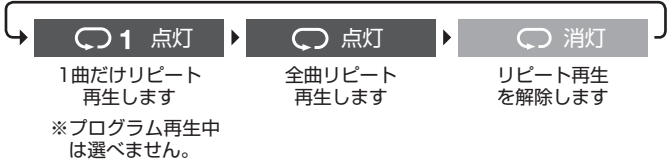
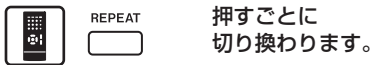
REPEAT

押すごとに
切り換わります。

1 点灯	▶ 点灯	▶ 消灯
1曲だけリピート再生します ※プログラム再生中は選べません。	全曲リピート再生します	リピート再生を解除します

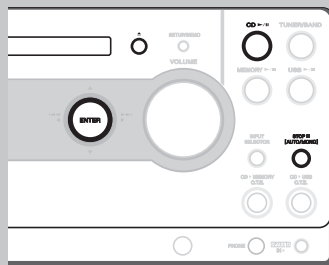
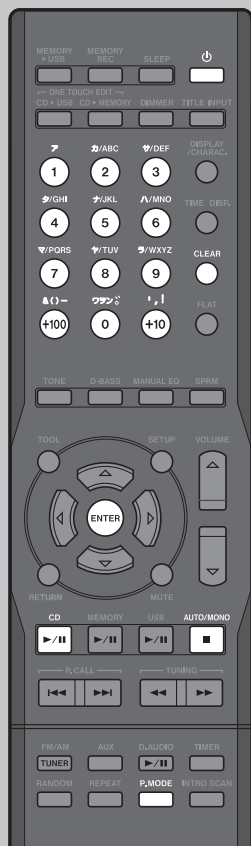
■リピート再生モードを解除するには

REPEAT

リピート再生中に再度
REPEATキーを押して
を消灯させせます。

プログラム再生中にREPEATキーを押すと選んだ曲を繰り返し再生します。

フォルダ再生モード中にREPEATキーを押すと選んでいるフォルダの曲ファイルを繰り返し再生します。（6ページ参照）

好きな曲を好きな順序で聞く（プログラム再生）

CDのみ

1 音源をCDに切り換える

2 再生を停止する

3 プログラムモードを選ぶ

P.MODE

押すごとに
切り換わります。

プログラムモード

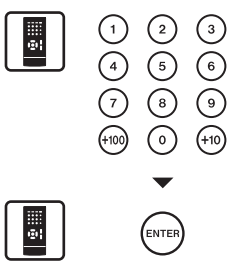
PGM 消灯

プログラムモードを解除します

■曲を後から追加するには

再生している場合は停止してから
手順4の操作を行います。

関連機能 | 曲を聞く P8 | 順不同に聞く（ランダム再生） P12 |

4 聞きたい曲を選ぶ

曲を選ぶ。

※曲を選んでから20秒以内にENTERキーを押してください。

※入力を間違えた場合は、CLEARキーを押してからもう一度入力してください。

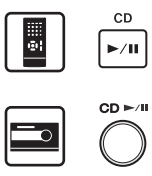
確定する。

CD T04 → P01
PGM SET

例）CDの4曲目をプログラムの1曲目に選んだ場合。

5 2曲以上選ぶときは手順4を繰り返す

※32曲まで曲を選ぶことができます。さらに曲を選ぼうとすると [PGM FULL] が表示されます。

6 再生する

電源をOFFにしたり、プログラム再生を設定したディスクを取り出すと設定したプログラム内容は消えます。

■プログラムした曲を取り消すには

CLEAR

再生を停止し、その後CLEARキーを押します。

※押すごとに、プログラムした最後の曲から1曲ずつ消えていきます。

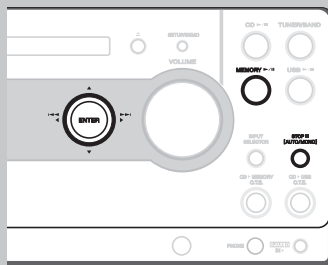
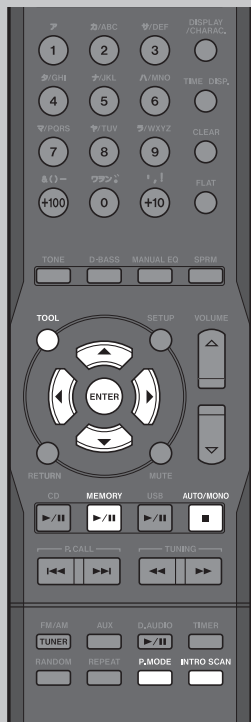
■プログラムモードを解除するには

再生を停止し、その後P.MODEキーを押してPGMを消灯させます。

繰り返し聞く（リピート再生） P13

イントロで曲を探す(イントロスキャン)

メモリカードのみ

曲ファイルを頭から10秒間次々に再生します。メモリカードの中から探したい曲ファイルを見つけるのに便利な機能です。

1 音源をメモリカードに切り換える

MEMORY ►/II

MEMORY ►/II

2 再生モードを選ぶ

P. MODE

押すごとに
切り換わります。

点灯	消灯
フォルダ再生モード（選択したフォルダ内の曲ファイルをイントロスキャンします）	全曲再生モード（メモリカード内の全曲ファイルをイントロスキャンします） ※全曲再生モードの場合は手順4へ。

3 フォルダを選ぶ

AL_A01
AL_A02

※選び方は「お使いになる前に編」24ページ参照。

■途中でやめるには

AUTO/MONO

STOP ■
[AUTO/MONO]

※再生も停止します。

※すべての曲ファイルのイントロスキャンが終了した場合も自動で停止します。

関連機能 曲を聞く P 7 | メモリカードからUSBオーディオプレーヤーへ転送する P30

4 イントロスキャンを始める

INTRO SCAN

選択したフォルダの最初の曲ファイルからそれぞれ10秒ずつ再生されます。

5 探していた曲が見つかったら

通常再生に切り換わります。

探していた曲ファイルの編集や転送はイントロスキャン中でも可能です。編集したい場合はTOOLキーを、転送したい場合はMEMORY ▶USBキーをそれぞれイントロスキャン中に押してください。編集、転送中はイントロスキャンが一時停止しますが、編集、転送後は次の曲からイントロスキャンが再開します。

■TOOLからイントロスキャンをするには

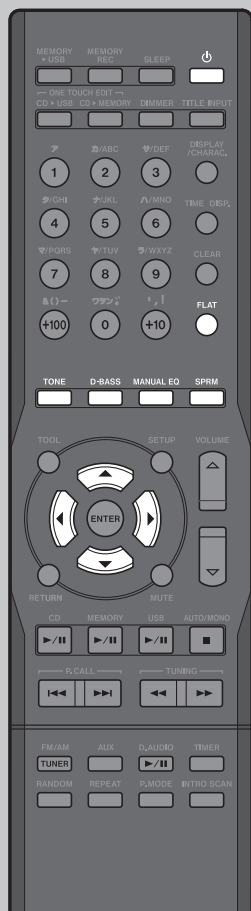
TOOL

INTRO SCAN
SCAN START

曲を消す P36 | 名前の変更 P40

お好みの音質で聞く

音源によっては効果が分かりにくいことがあります。

SOUND SETUPで調整した音質のON/OFFを切り換えられます。
（62 ～ 65ページ参照）

低音を強調する（D-BASS）

D-BASS

押すごとにON/OFFが切り換わります。

※ONにすると**D-BASS**が点灯します。

■レベルを調整するには

1 ～ 10の範囲で1ずつ調整できます。

※SOUND SETUPからも調整できます。（62ページ参照）

より原音に近い音で楽しむ（SUPREME）

USBオーディオプレーヤー、メモリカードのみ。

SPRM

押すごとにON/OFFが切り換わります。

※ONにすると**SPRM**が点灯します。

※SOUND SETUPからも調整できます。（65ページ参照）

■SUPREME（サプリーム）とは

オーディオデータの圧縮によって失われた高音域の周波数を推測し、補間することで、リアルなサウンドを甦らせるケンウッド独自の音質向上技術です。

関連機能 | 音質の設定をする P62~P65

低音と高音を強調する（TONE）

TONE

押すごとにON/OFFが切り換わります。

※ONにすると **TONE** が点灯します。
レベルが0の場合は点灯しません。

■ レベルを調整するには

高音または低音を選んで

調整する

＋8 ～ －8の範囲で2ずつ調整できます。

＋8 ～ －8の範囲で2ずつ調整できます。

※SOUND SETUPからも調整できます。（63ページ参照）

お好みの音質に切り換える（MANUAL EQ）

本機搭載の本格的な7バンドのイコライザーで、重低音域から超高音域まで調整して、お好みの音質になるような音域のカーブを作ることができ、3種類（USER　1 ～ 3）まで登録できます。

MANUAL EQ

押すごとに切り換わります。

※ONにすると **EQ** が点灯します。
レベルが0の場合は点灯しません。

OFF ▶ USER 1 ▶ USER 2 ▶ USER 3

OFF	USER 1	USER 2	USER 3
MANUAL EQを解除します	USER 1の設定	USER 2の設定	USER 3の設定

※あらかじめUSER1 ～ 3の設定を登録しておく必要があります。（64ページ参照）

D-BASS、TONE、MANUAL EQの設定を一時的に無効にする（FLAT）

FLAT

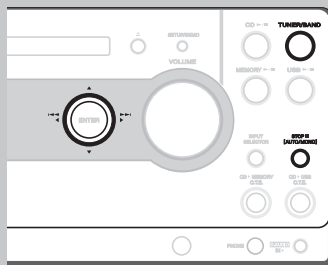
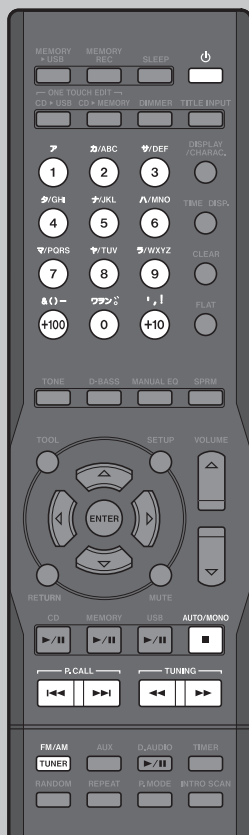
押すごとにFLATと設定済みのもとの音質にが切り換わります。

※ONにすると**D-BASS**、**TONE** 、**EQ**
が点灯していれば消灯します。

ディスプレイは各音質のON/OFFを切り換えた5秒後、レベル調整を行った20秒後にもとの表示に戻ります。

選択などの操作は本体でも行うことができます。

ラジオを聞く

ラジオのみ

1 FMまたはAMに切り換える

FM/AM
TUNER

押すごとに
切り換わります。

TUNER/BAND

押すごとに
切り換わります。

2 放送局を選ぶ

記憶させてある放送局から選ぶ場合（プリセットコール）

P.CALL

TUNER P03

例）プリセット番号P03を
選択している場合。

記憶させてある放送局を、プリセット番号（P01 ～ P40）から選びます。

※放送局を記憶させる場合（オートプリセット/マニュアルプリセット）は22、24ページ参照。

※押したままにすると、放送局を早く切り換えることができます。

■数字キーで放送局（プリセット番号）を選ぶには

1 2 3
4 5 6
7 8 9
+100 0 +10

P13なら +10 、3

P32なら +10 ×3回、2

関連機能 お好みの音質で聞く P18 ｜ 放送局を記憶させる P22～P25

記憶させていない放送局を選ぶ場合（オート選局またはマニュアル選局）

オート選局するか、マニュアル選局するかを選びます。

※押すごとに切り換わります。

AUTO点灯	AUTO消灯
オート選局（電波状況の良いときに選びます）	マニュアル選局（電波状況の悪いときに選びます）

放送局を選びます。

■オート選局の場合は

押すごとに次の放送局を自動で受信します。お好みの放送局を受信するまで操作を繰り返してください。

■マニュアル選局の場合は

受信するまで、または受信したい周波数になるまで押してください。
押し続けると周波数が早送りになります。

リモコンのFM/AM/(TUNER) キーを押すだけで本機の電源がONになります。
オート選局/マニュアル選局中は音が出ません。
オート選局はステレオ受信、マニュアル選局はモノラル受信になります。
受信すると**TUNED**が点灯します。ステレオ受信の場合は **STEREO** が点灯します。

ディスプレイ表示切り換え P54

放送局を記憶させる

ラジオのみ

準備

FMまたはAMに切り換えてください。

※他の音源が選ばれていると、放送局を記憶させることができません。

※放送局はFM、AM合わせて最大40局まで記憶させることができます。

※放送局名は「放送局名自動表示リスト」に載っている放送局のみに対応しています。

※ケーブルテレビなどのアンテナを本機に接続した場合は、放送局が正しく表示されない場合があります。

放送局を自動で記憶させる（オートプリセット）

1 TOOLキーを押し［AUTO PRESET］を選び決定する

AUTO PRESET
EXIT

2 お住まいの都道府県名を選ぶ

ケンメイセッテイ
トウキョウ

※都道府県名はアイウエオ順に並んでいます。

※お住まいの都道府県が変わった場合はもう一度記憶させてください。

3 放送局を記憶させる

※ディスプレイに［AUTO PRESET］が点滅して放送局が記憶されます。記憶後はプリセット番号P01を受信した状態になります。

※すでに記憶されている周波数も書き換えることができます。

■希望の放送局名が表示されない場合は

P.MODE

地域によっては、周波数が同じでも放送局名が違う場合があります。希望する放送局名が表示されない場合は、リモコンのP.MODEキーを押すことにより別の放送局名に切り換えることができます。

関連機能 ラジオを聞く P20

■放送局名自動表示リスト

※放送局名は変更される
ことがあります。

都道府県名	放送局	表示名
	NHK-FM	NHK-FM
愛知県	㈱エフエム愛知	FM AICHI
愛知県	㈱ZIP-FM	ZIP-FM
愛知県	愛知国際放送㈱	RADIO-i
青森県	㈱エフエム青森	FMｱｵﾓﾘ
秋田県	㈱エフエム秋田	FMｱｷﾀ
石川県	㈱エフエム石川	FM ISHIKAWA
岩手県	㈱エフエム岩手	FM IWATE
愛媛県	㈱エフエム愛媛	FMｴﾋﾒ
大分県	㈱エフエム大分	FM OITA
大阪府	㈱FM802	FM802
大阪府	㈱エフエム大阪	fm osaka
大阪府	関西ｲﾝﾀｰﾒﾃﾞｨｱ㈱	FM CO･CO･LO
岡山県	岡山エフエム放送㈱	FMｵｶﾔﾏ
沖縄県	AFN沖縄	AFNｵｷﾅﾜ
沖縄県	㈱エフエム沖縄	FM Okinawa
	NHK第一	NHKﾗｼﾞｵ1
香川県	㈱エフエム香川	Fm FMｶｶﾞﾜ
鹿児島県	㈱エフエム鹿児島	ﾐｭ-FM
東京都	ｴﾌｴﾑｲﾝﾀｰｳｪｰﾌﾞ㈱	InterFM
神奈川県	横浜エフエム放送㈱	Fm Yokohama
岐阜県	岐阜エフエム㈱	Radio 80
京都府	㈱エフエム京都	FMｷｮｳﾄ
熊本県	㈱エフエム熊本	FMK
群馬県	㈱エフエム群馬	FM GUNMA
	放送大学	ﾎｳｿｳﾀﾞｲｶﾞｸ
高知県	㈱エフエム高知	FM KOCHI
埼玉県	㈱FM NACK5	NACK5
佐賀県	㈱エフエム佐賀	FMｻｶﾞ
滋賀県	㈱エフエム滋賀	e-radio
静岡県	静岡エフエム放送㈱	K-MIX

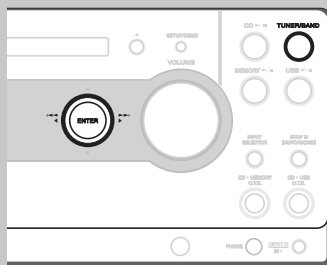
都道府県名	放送局	表示名
島根県	㈱エフエム山陰	fm-sanin
千葉県	㈱ベイエフエム	bayfm
東京都	㈱J-WAVE	J-WAVE
東京都	㈱エフエム東京	TOKYO FM
徳島県	㈱エフエム徳島	FMﾄｸｼﾏ
栃木県	㈱エフエム栃木	RADIO BERRY
富山県	富山エフエム放送㈱	FMﾄﾔﾏ
富山県	北日本放送㈱	KNBﾗｼﾞｵ
長崎県	㈱エフエム長崎	Smile-FM
長野県	長野エフエム放送㈱	FM NAGANO
新潟県	㈱エフエムラジオ新潟	FM-NIIGATA
新潟県	新潟県民エフエム放送㈱	FM PORT
兵庫県	㈱Kiss-FM KOBE	Kiss-FM
広島県	広島エフエム放送㈱	ﾋﾛｼﾏFM
福井県	福井エフエム放送㈱	FMFUKUI
福岡県	㈱エフエム九州	CROSS FM
福岡県	㈱エフエム福岡	fm fukuoka
福岡県	㈱九州国際エフエム	Love FM
福島県	㈱エフエム福島	ﾌｸｼﾏFM
北海道	㈱エフエム・ノースウェーブ	NORTH WAVE
北海道	㈱エフエム北海道	AIR-G'
三重県	三重エフエム放送㈱	Radio3 FMﾐｴ
宮城県	㈱エフエム仙台	Date fm
宮崎県	㈱エフエム宮崎	JOY FM
山形県	㈱エフエム山形	BOY FM
山口県	㈱エフエム山口	FMﾔﾏｸﾞﾁ
山梨県	㈱エフエム富士	FM-FUJI

オートプリセットで記憶させることができる放送局は、手順2で設定したお住まいの都道府県と隣接する都道府県の放送局のみです。それ以外の放送局はマニュアルプリセット（24ページ参照）で記憶させてください。

放送局名自動表示リスト以外の放送局はマニュアルプリセット（24ページ参照）で記憶させてください。

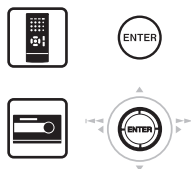
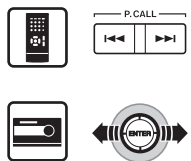
電波状況が悪く **TUNED** が点灯していない場合は、放送局名は表示されません。

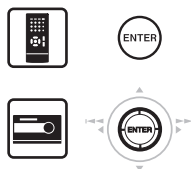
放送局を記憶させる（つづき）

ラジオのみ

放送局を手動で記憶させる（マニュアルプリセット）

1 記憶させたい放送局を選ぶ

※オート選局またはマニュアル選局で
放送局を選びます。（21ページ参照）

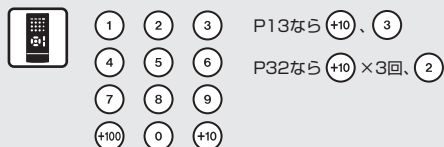
2 選んだらENTERキーを押す

3 記憶させたいプリセット番号（P01 ～ P40）を選ぶ

※すでに放送局を記憶させてあるプリセット番号に重ねて記憶させると、新しい設定に変更されます。

4 放送局を記憶させる

※続けて記憶させたい場合は、手順1 ～ 4を繰り返してください。

■数字キーで放送局（プリセット番号）を選ぶには

P13なら (+10)、(3)

P32なら (+10) ×3回、(2)

関連機能 ラジオを聞く P20

記憶させた放送局を消す

消したい放送局をプリセット番号から選ぶ

※プリセット番号P40は消せません。

2 選んだらCLEARキーを押す

TUNER P03
CLEAR?

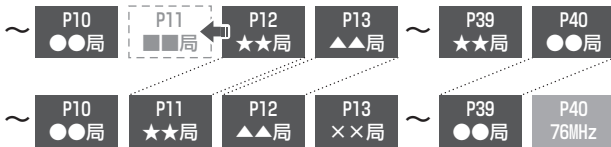
ディスプレイに[CLEAR?]と20秒間表示されます。

3 放送局を消す

ディスプレイに[CLEAR?]と表示されている間にENTERキーを押してください。

※20秒間操作されなかった場合はもとの表示に戻ります。

■ 放送局を消すと

例）P11の■■局を消す

後ろのプリセット番号が前に詰まる。

空いてしまうプリセット番号には自動的に76MHzが記憶されます。

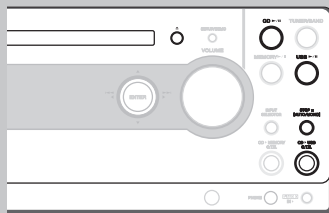
CDの曲を録音する (ワンタッチエディット録音)

USBオーディオプレーヤーの場合

準備

USBオーディオプレーヤー、CDの再生が停止しているか確認してください。

が点灯している場合は、RANDOMキーを押してランダム再生モードを解除してください。

※録音中、メモリカードを挿入しないでください。録音が停止します。

※録音モードの設定を変更するには56～61ページ参照。

全曲録音する

1 録音する

■途中でやめるには

※一時停止はできません。

※一時停止はできません。

USBオーディオプレーヤー内にフォルダ名AL_Z90番台があると[リフレッシュシテクダサイ]と表示され、録音することができません。フォルダの整理が必要です。リフレッシュを行ってください。(52ページ参照)

■録音が終了すると

CD T01
DATA WRITING

USBオーディオプレーヤーが停止して、[DATA WRITING]と表示されます。

※[DATA WRITING]表示中は電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。

※[DATA WRITING]が完了する前に電源が切れると録音した内容が消えます。

■録音中USBオーディオプレーヤーがいっぱいになると

ﾛｸｵﾝ ﾃｲｼ
ﾖｳﾘｮｳｶﾞｱﾘﾏｾﾝ

[ロクオン テイシ ヨウリョウガアリマセン]と表示されます。録音し直す場合は、不要な曲を削除してください。(36ページ参照)

関連機能 | 好きな曲を好きな順序で聞く(プログラム再生) P14 | 曲を消す P36

1曲録音する

1 録音したい曲を再生する

2 録音する

CD ▸ USB

再生中の曲の頭から録音が始まります。

■途中でやめるには

AUTO/MONO ■
※一時停止はできません。

STOP ■ [AUTO/MONO]
※一時停止はできません。

好きな曲を好きな順番で録音する

1 録音したい曲を選ぶ

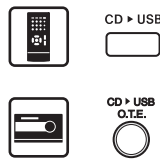
プログラムモードで好きな曲を好きな順番で選びます。（14ページ参照）

2 録音する

CD ▸ USB

■途中でやめるには

AUTO/MONO ■
※一時停止はできません。

STOP ■ [AUTO/MONO]
※一時停止はできません。

CDからUSBオーディオプレーヤーへのワンタッチエディット録音は、TOOLからも行えます。（49ページ参照）

CD-TEXTに対応したCDでは、録音するときに曲名やアルバム名などの文字情報を一緒にコピーすることができます。（61ページ参照）

■こんなときは

短時間で録音したい ………………………… 57ページ参照（録音スピードを設定する）
USBオーディオプレーヤー内の情報を見たい ………………………………… 51ページ参照
フォルダ、曲ファイルを消去したい …… 36ページ参照
フォルダを整理したい …………………… 52ページ参照
フォルダ、曲ファイルの名前を変更したい ………………………… 40ページ参照

CDの曲を録音する (ワンタッチエディット録音)

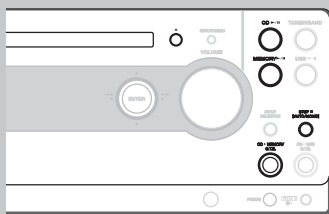
メモリカードの場合

準備

メモリカード、CDの再生が停止しているか確認してください。

が点灯している場合は、RANDOMキーを押してランダム再生モードを解除してください。

※録音中、USBオーディオプレーヤーを接続しないでください。録音が停止します。

※録音モードの設定を変更するには56～61ページ参照。

全曲録音する

1 録音する

CD ▸ MEMORY

CD ▸ MEMORY O.T.E.

■途中でやめるには

AUTO/MONO ■

※一時停止はできません。

STOP ■ [AUTO/MONO]

※一時停止はできません。

Hint メモリカード内にフォルダ名AL_Z90番台があると[リフレッシュシテクダサイ] が表示され、録音することができません。フォルダの整理が必要です。リフレッシュを行ってください。(52ページ参照)

■録音が終了すると

CD T01
DATA WRITING

メモリカードが停止して、[DATA WRITING]と表示されます。

※[DATA WRITING]表示中は電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。

※[DATA WRITING]が完了する前に電源が切れると録音した内容が消えます。

■録音中メモリカードがいっぱいになると

ロクオン テイシ
ヨウリョウガ アリマセン

[ロクオン テイシ ヨウリョウガアリマセン]と表示されます。録音し直す場合は、不要な曲を削除してください。(36ページ参照)

関連機能 好きな曲を好きな順序で聞く(プログラム再生) P14 | 曲を消す P36

1曲録音する

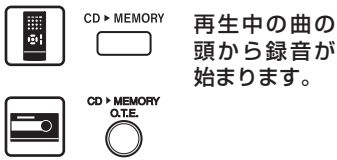
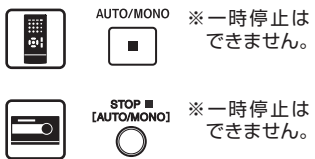
1 録音したい曲を再生する

2 録音する

再生中の曲の頭から録音が始まります。

■途中でやめるには

※一時停止はできません。

※一時停止はできません。

好きな曲を好きな順番で録音する

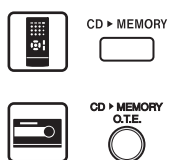
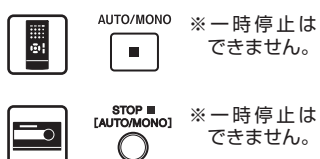
1 録音したい曲を選ぶ

プログラムモードで好きな曲を好きな順番で選びます。（14ページ参照）

2 録音する

■途中でやめるには

※一時停止はできません。

※一時停止はできません。

CDからメモリカードへのワンタッチエディット録音は、TOOLからも行えます。（49ページ参照）
CD-TEXTに対応したCDでは、録音するときに曲名やアルバム名などの文字情報を一緒にコピーすることができます。（61ページ参照）

■こんなときは

短時間で録音したい ………………………… 57ページ参照（録音スピードを設定する）
メモリカード内の情報を見たい ………… 51ページ参照
フォルダ、曲ファイルを消去したい …… 36ページ参照
フォルダを整理したい …………………… 52ページ参照
フォルダ、曲ファイルの名前を変更したい ………………………… 40ページ参照

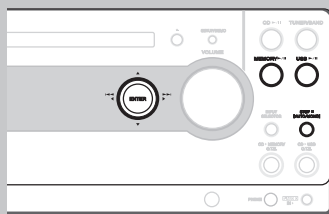
メモリカードからUSBオーディオプレーヤーへ転送する(ワンタッチエディット転送)

メモリカードからUSBオーディオプレーヤーへの録音は、曲ファイルの転送となります。曲ファイルが移動するのでメモリカード内からは曲ファイルがなくなります。

※USBオーディオプレーヤーへ転送した曲ファイルはメモリカードへ戻すことはできません。

準備

USBオーディオプレーヤー、メモリカードの再生が停止しているか確認してください。

※録音モードの設定を変更するには56～61ページ参照。

1曲転送する

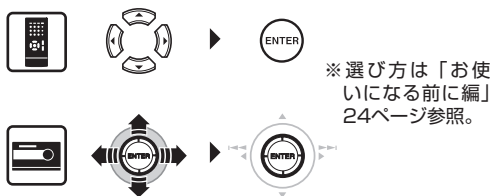
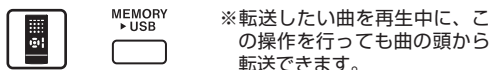
1 音源をメモリカードに切り換える

2 転送したい曲ファイルを選び再生する

※選び方は「お使いになる前に編」24ページ参照。

3 転送する

MEMORY ▸USB

※転送したい曲を再生中に、この操作を行っても曲の頭から転送できます。

メモリカードからUSBオーディオプレーヤーへのワンタッチエディット転送は、TOOLからも行えます。(48ページ参照)

■転送中USBオーディオプレーヤーがいっぱいになると

テンソウ エラー
USB ヲカクニン

[テンソウ エラー USB ヲカクニン]と表示されます。転送し直す場合は、不要な曲を削除してください。
(36ページ参照)

関連機能 曲を消す P36 TOOLからワンタッチエディット録音する P48

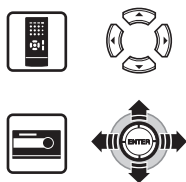
フォルダ内すべての曲を転送する

1 音源をメモリカードに切り換える

MEMORY
MEMORY ►/II

2 転送したいフォルダを選択する

※選び方は「お使いになる前に編」24ページ参照。
3 転送する

MEMORY ▸USB

※転送中に何らかのキーを押すと［テンソウ チュウデス KEYLOCKサレテイマス］と表示されます。転送が終わるまで他の操作はできません。

USBオーディオプレーヤー内にフォルダ名AL_Z90番台があると［リフレッシュシテクダサイ］と表示され、転送することができません。フォルダの整理が必要です。リフレッシュを行ってください。（52ページ参照）

■ こんなときは

USBオーディオプレーヤー、メモリカード内の情報を見たい ………… 51ページ参照
フォルダ、曲ファイルを消去したい …… 36ページ参照
フォルダを整理したい …………………… 52ページ参照
フォルダ、曲ファイルの名前を変更したい ………………………… 40ページ参照

ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーの曲を録音する

メモリカードのみ

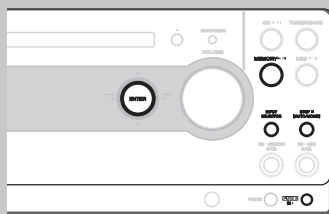
準備

ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーをD.AUDIO IN端子に接続してください。（「お使いになる前に編」14ページ参照）

メモリカードの再生が停止しているか確認してください。

が点灯している場合は、RANDOMキーを押してランダム再生モードを解除してください。

※録音中、USBオーディオプレーヤーを接続しないでください。録音が停止します。

※録音モードの設定を変更するには56～61ページ参照。

1 音源をD.AUDIOに切り換える

D.AUDIO ►/❚❚

2 録音の準備をする

❶ D.AUDIO ►/❚❚ 再生を一時停止します。

❷ 録音したい曲を選びます。

※録音したい曲を頭出しした状態になります。

※別売の専用ケーブル PNC-150を使って接続すると、本機やリモコンでケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーの操作が行えます。

※PNC-150以外のケーブルで接続している場合は、接続したケンウッド製デジタルオーディオプレーヤー側で操作します。

3 録音待機する

MEMORY REC

録音一時停止（待機）状態になります。

MEMORY (REC)
MEMORY CARD ヲ

※[MEMORY CARD ヲヌカナイデクダサイ]とスクロール表示されます。

■停止するには

AUTO/MONO ■

STOP ■ [AUTO/MONO]

■一時停止するには

MEMORY REC または MEMORY ►/❚❚

MEMORY ►/❚❚

※再び録音を始める場合は、もう一度押します。このとき曲ファイル名は1繰り上がります。

関連機能 ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーの曲を聞く P10 曲を消す P36

4 録音を始める

再度MEMORY RECキーを押し、録音を開始します。

```
MEMORY Tr001
MEMORY CARD ヲ
```

※[MEMORY CARD ヲ ヌカナイデクダサイ]とスクロール表示されます。

5 ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーを再生する

ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーを再生させます。

※PNC-150以外のケーブルで接続している場合は、接続したケンウッド製デジタルオーディオプレーヤー側で操作します。

メモリカード内にフォルダ名AL_Z90番台があると[リフレッシュシテクダサイ]と表示され、録音することができません。フォルダの整理が必要です。リフレッシュを行ってください。（52ページ参照）

■録音時のトラック分割について

ラジオや外部入力、またはD.AUDIOを録音するとき手動でトラックマーク(曲を区切るマーク)を付けることができ、押すごとに曲ファイルが作成されます。

区切りたい場所で押します。

※自動でトラックマークを付けたい場合は59ページ参照。

■録音した音が歪む、または小さいと感じた場合は

録音レベルを調整してください。（58ページ参照）

■録音が終了すると

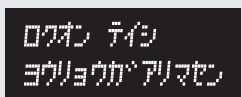
```
D.AUDIO
DATA WRITING
```

メモリカードが停止して、[DATA WRITING] と表示されます。

※ [DATA WRITING] 表示中は電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。

※ [DATA WRITING] が完了する前に電源が切れると録音した内容が消えます。

■録音中メモリカードがいっぱいになると

```
ﾛｸｵﾝ ﾃｲｼ
ﾖｳﾘｮｳｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ
```

[ロクオン テイシ ヨウリョウガアリマセン] と表示されます。録音し直す場合は、不要な曲を削除してください。（36ページ参照）

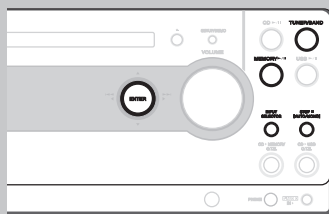
ラジオ(FMまたはAM)を録音する
外部入力(AUX)から録音する

メモリカードのみ

準備

メモリカードの再生が停止しているか確認してください。

が点灯している場合は、RANDOMキーを押してランダム再生モードを解除してください。

※録音中、USBオーディオプレーヤーを接続しないでください。録音が停止します。
※録音モードの設定を変更するには56～61ページ参照。

1 録音する音源を選ぶ

ラジオ放送（FMまたはAM）を録音する場合

FM/AM TUNER

TUNER/BAND

押すごとに切り換わります。

外部入力機器（AUX）から録音する場合

AUX

INPUT SELECTOR

押すごとに切り換わります。

2 録音の準備をする

ラジオ放送（FMまたはAM）を録音する場合

選局します。（20～21ページ参照）

外部入力機器（AUX）から録音する場合

受信や再生などの準備をします。（9ページ参照）

■停止するには

AUTO/MONO

STOP ■ [AUTO/MONO]

■一時停止するには

MEMORY REC

または MEMORY ►/II

MEMORY ►/II

※再び録音を始める場合は、もう一度押します。このとき曲ファイル名は1繰り上がります。

関連機能 ラジオを聞く P20 | 放送局を記憶させる P22~P25 | 曲を消す P36

3 録音待機する

MEMORY REC

録音一時停止（待機）状態になります。

MEMORY (REC)
MEMORY CARD ヲ

※[MEMORY CARD ヲ ヌカナイデクダサイ]とスクロール表示されます。

4 録音を始める

MEMORY REC

再度RECキーを押し、録音を開始します。

MEMORY Tr001
MEMORY CARD ヲ

※[MEMORY CARD ヲ ヌカナイデクダサイ]とスクロール表示されます。

5 外部入力の再生を始める

※ラジオの場合、この手順は不要です。

メモリカード内にフォルダ名AL_Z90番台があると[リフレッシュシテクダサイ]と表示され、録音することができません。フォルダの整理が必要です。リフレッシュを行ってください。(52ページ参照)

■録音時のトラック分割について

ラジオや外部入力、またはD.AUDIOを録音するとき手動でトラックマーク(曲を区切るマーク)を付けることができ、押すごとに曲ファイルが作成されます。

区切りたい場所で押します。

※自動でトラックマークを付けたい場合は59ページ参照。

■録音した音が歪む、または小さいと感じた場合は

録音レベルを調整してください。(58ページ参照)

■録音が終了すると

TUNER P03
DATA WRITING

メモリカードが停止して、[DATA WRITING]と表示されます。

※[DATA WRITING]表示中は電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。

※[DATA WRITING]が完了する前に電源が切れると録音した内容が消えます。

■録音中メモリカードがいっぱいになると

ロクオン テイシ
ヨウリョウガ アリマセン

[ロクオン テイシ ヨウリョウガアリマセン]と表示されます。録音し直す場合は、不要な曲を削除してください。(36ページ参照)

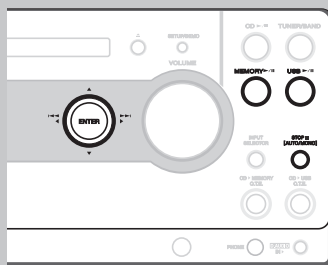
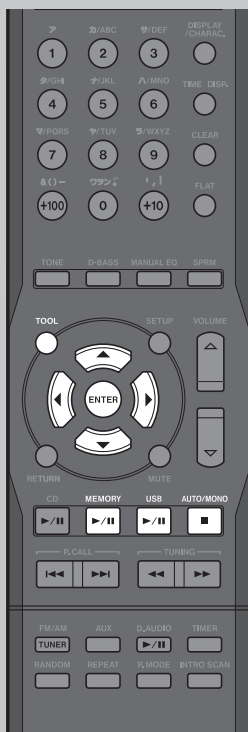
曲を消す

USBオーディオプレーヤーまたはメモリカードのみ

消したい曲を再生して、確認しながら消すこともできます。その場合は消したい曲を再生しながら操作してください。

一度消した曲はもとに戻りません。本操作を行うときはご注意ください。

1 音源を切り換える

USB ►/II または MEMORY ►/II

2 消したい曲ファイルまたはフォルダを選ぶ

※選び方は「お使いになる前に編」24ページ参照。

1曲ずつ消す場合

曲ファイルを選びます。

※再生中はその曲ファイルが選択されます。

フォルダとフォルダ内のすべての曲を消す場合

フォルダを選びます。

※フォルダが消せない場合は曲ファイル以外のファイルが入っている可能性があります。（71ページ参照）

■途中でやめるには

TOOL または AUTO/MONO ■

STOP ■
[AUTO/MONO]

関連機能 | イントロで曲を探す（イントロスキャン） P16 | リフレッシュ機能でフォルダを整理する P52

3 TOOLキーを押し [ERASE] を選び決定する

ERASE
TITLE INPUT

4 確認して、実行する

ERASE
OK

※曲ファイルやフォルダを消した後は、F001が表示されます。

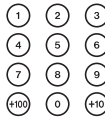
メモリカードの書き込み禁止スイッチがLockになっていると、操作を完了しても [Lock サレテイマス] と表示され、曲ファイルを消すことができません。

フォルダ内に曲ファイル以外のファイルがある場合に、フォルダを選択して消す操作を行うと、フォルダと曲ファイル以外のデータを残して曲ファイルだけ消されます。
本機ではMEMORY FORMATをしないと曲ファイル以外のファイルを消すことはできません。（67ページ参照）

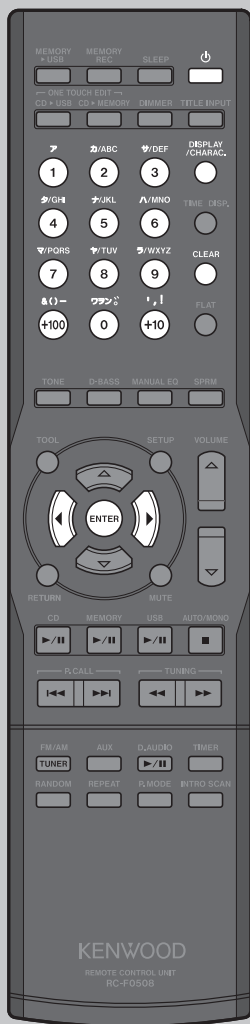
選択や決定などの操作は本体でも行うことができます。

曲をもっと録り貯めるには（メモリカードの交換） P53
メモリカード内のすべてのデータを消去する（MEMORY FORMAT） P67

文字入力のしかた

USBオーディオプレーヤーまたはメモリカードのみ

曲名など、文字の入力についての説明です。名前の変更（40ページ）も併せてご覧ください。

1 文字を入力する

❶ DISPLAY /CHARAC.

文字のグループを選びます。押すごとに文字の種類が切り換わります。

※詳しくは右記のタイトル編集文字一覧表をご覧ください。

❷ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 +100 0 +10

文字入力キーを押して、文字を入力します。

例）グループ[Aa]で カ/ABC 2 を押したとき以下のように切り換わります。

→A▶B▶C▶a▶b▶c

❸ ❶、❷を繰り返して文字を入力していきます。

例）HAPPYと入力する場合の操作は以下のようになります。

HAPPY

文字	キー	押す回数
H	タ/GHI 4	2回押します
A	カ/ABC 2	1回押します
P	マ/PQRS 7	1回押します
カーソルを移動	▶	1回押します
P	マ/PQRS 7	1回押します
Y	ラ/WXYZ 9	3回押します

※カタカナ、数字を入力する場合はDISPLAY/CHARAC.キーで文字のグループを選び同じ要領で入力します。

2 タイトルを確定する

関連機能 | 名前の変更 P40

タイトル編集文字一覧表

数字キー ＼ グループ		Aa	12	アァ
①	1ア	（スペース）	1	アイウエオァィゥェォ
②	2カABC	A B C a b c	2	カキクケコ
③	3サDEF	D E F d e f	3	サシスセソ
④	4タGHI	G H I g h i	4	タチツテトッ
⑤	5ナJKL	J K L j k l	5	ナニヌネノ
⑥	6ハMNO	M N O m n o	6	ハヒフヘホ
⑦	7マPQRS	P Q R S p q r s	7	マミムメモ
⑧	8ヤTUV	T U V t u v	8	ヤユヨャュョ
⑨	9ラWXYZ	W X Y Z w x y z	9	ラリルレロ
⓪	0ワヲン ゛°	（スペース）	0	゛ ° ワヲン
+10	+10 ' , !	' , ! ; _ ` $ （スペース）		
+100	+100 &( ) –	& ( ) - + = # % @		

※ ゛（濁点）°（半濁点）はカーソル直前の文字によって入力できないことがあります。

入力できる文字数

メモリカードまたはUSBオーディオプレーヤーのフォルダ、曲ファイルにはそれぞれ最大28文字まで入力できます。

※カタカナを使用したり、曲数が多い場合は、入力できる文字数が少なくなります。
スペース（1文字ぶんの空白）も、文字と同じデータを必要とします。

■文字を消すには

消したい文字にカーソルを移動させます。

CLEAR

文字を消します。

■文字を挿入するには

挿入する箇所にカーソルを移動させ、文字を入力します。

■管理番号について

管理番号

MEMORY
TR001.WMA

管理番号

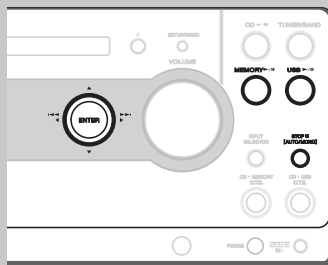
※フォルダ名、曲ファイル名のタイトル前にあるアルファベットや番号（管理番号）を変更するとフォルダ、曲ファイルの順序がずれてしまいます。なるべく管理番号の変更はしないでください。

USBオーディオプレーヤーやメモリカードの曲ファイル名を変更する場合は、すでにある曲ファイルやフォルダの名前と同じ名前を付けないでください。

選択や決定などの操作は本体でも行うことができます。

名前の変更

USBオーディオプレーヤーまたはメモリカードのみ

本機で録音した曲ファイルや作成されたフォルダ（KWDフォルダに入っています）以外のデータの名前を変更しないでください。KWDフォルダについては「お使いになる前に編」24ページ参照。

曲ファイルやフォルダの名前を変更する

1 音源を切り換える

USB ►/II または MEMORY ►/II

USB ►/II または MEMORY ►/II

2 名前を変更したい曲ファイルまたはフォルダを選ぶ

※選び方は「お使いになる前に編」24ページ参照。

※再生中の場合は、再生されている曲ファイルの名前を変更します。

3 TITLE INPUTキーを押す

TITLE INPUT

■途中でやめるには

TOOL または AUTO/MONO ■

STOP ■ [AUTO/MONO]

関連機能 | イントロで曲を探す（イントロスキャン） P16 | 文字入力のしかた P38

4 文字を入力する

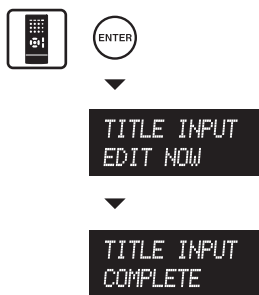
38ページ参照。

5 タイトルを確定する

▼

TITLE INPUT
EDIT NOW

▼

TITLE INPUT
COMPLETE

※他の曲ファイルやフォルダの名前を変更する場合は、続けて手順2～5を繰り返し行ってください。

USBオーディオプレーヤーやメモリカードの曲ファイル名を変更する場合は、すでにある曲ファイルやフォルダの名前と同じ名前を付けないでください。

選択や決定などの操作は本体でも行うことができます。

■TOOLから名前を変更するには

❶ 音源を切り換えます。

❷ 名前を変更したい曲ファイルまたはフォルダを選びます。

❸ TOOLキーを押し[TITLE INPUT]を選び決定します。

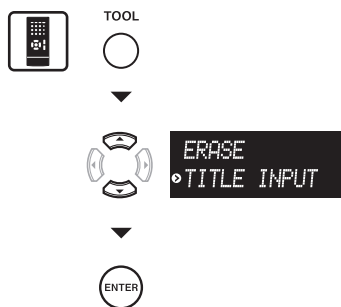
▼

ERASE
TITLE INPUT

▼

❹ 文字を入力します。

❺ タイトルを確定します。

リフレッシュ機能でフォルダを整理する P52 | 曲をもっと録り貯めるには（メモリカードの交換） P53

タイマーを使う

2種類のタイマー（PROGRAM　1、PROGRAM　2）を同時に設定できます。

PROGRAM　1とPROGRAM　2の作動する時間が重ならないように、1分以上の間を開けて設定してください。

ラジオ放送をタイマーで録音する場合、録音したい番組の開始時間ぴったりにタイマーを設定すると最初の部分が頭切れになります。開始時間より1分程度早く設定してください。

準備

時計を合わせておいてください。（69ページ参照）

外部機器の音を再生、または録音する場合は、外部機器を接続し外部機器のタイマーも設定しておいてください。（外部機器の取扱説明書をご覧ください）

操作中にRETURNキーを押すと、前の表示に戻ることができます。

SETUPキーを押し
[SYSTEM SETUP]を選んでおきます。

▼

SYSTEM SETUP
REC SETUP

▼

1 [TIMER　SETTING] を選ぶ

TIME ADJUST
TIMER SETTING

2 [PROGRAM　1　SET] または [PROGRAM　2　SET] を選ぶ

PROGRAM 1 SET
PROGRAM 2 SET

3 各項目を選んで設定する

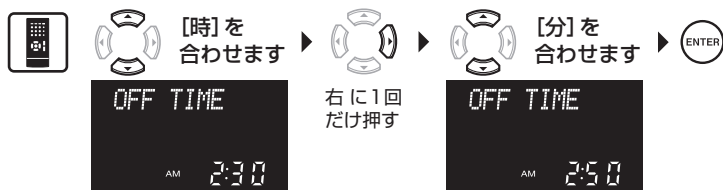
設定できる項目は以下の通りです。
各項目については43～46ページ参照。

各項目の設定に順番はありません。
必要な項目を、お好きな順番で設定できます。

各項目を選んで

決定する

各項目の詳細を設定する

項目	内容
ON/OFF	タイマーが作動するまたはしないを設定する
PLAY/REC	再生または録音を選ぶ
ﾖｳﾋﾞ ｾｯﾃｲ	曜日を選ぶ
ON TIME	開始時間を設定する
OFF TIME	終了時間を設定する
ON VOLUME	音量を設定する
AI PLAY	AI PLAYを設定する（TIMER PLAYのみ有効）
PLAY SOURCE	再生する音源を選ぶ
REC MODE	録音モードを選ぶ（TIMER RECのみ有効）

※すべての項目を設定しなくてもタイマーの設定は完了できますが、確実に動作させるために各項目をひと通り確認することをお勧めします。

[ON/OFF]　タイマーが作動するまたはしないを設定する

ON/OFF
ON

▶

※タイマーを作動させない場合は[OFF]を選びます。

[PLAY/REC]　再生または録音を選ぶ

PLAY/REC		
TIMER REC	録音する場合	▶
TIMER PLAY	再生する場合	▶

[ヨウビ セッテイ]　曜日を選ぶ

❶ 曜日を選びます。

ヨウビ セッテイ		
EVERYDAY　（毎日）	解除するまでタイマーが働く	▶
SUNDAY　（日曜日） MONDAY　（月曜日） TUESDAY　（火曜日） WEDNESDAY（水曜日） THURSDAY　（木曜日） FRIDAY　（金曜日） SATURDAY　（土曜日）	タイマーが1回だけ働くか、毎週働くか選べる	▶ 右に1回だけ押す **手順❷へ**
MON - FRI（月~金曜日） TUE - SAT（火~土曜日） SAT - SUN（土~日曜日）	解除するまでタイマーが働く	▶

❷ 1回だけ働くか、毎週働くかを選びます。

ヨウビ セッテイ		
ONETIME	タイマーが1回だけ働く	▶
EVERY WEEK	タイマーが毎週働く	▶

タイマーを使う（つづき）

[ON TIME]　開始時間を設定する

[時] を
合わせます

ON TIME
AM 12:00

右に1回
だけ押す

[分] を
合わせます

ON TIME
AM 12:30

[OFF TIME]　終了時間を設定する

[時] を
合わせます

OFF TIME
AM 2:30

右に1回
だけ押す

[分] を
合わせます

OFF TIME
AM 2:50

[ON VOLUME]　音量を設定する

ON VOLUME
VOLUME 11

※音量は0～40（最大）の間で設定できます。

※現在聞いている音量は変わりません。

※[TIMER PLAY]、[TIMER REC] それぞれ別の音量を設定できます。

[AI PLAY]　AI PLAYを設定する（TIMER PLAYのみ有効）

AI PLAY
ON

※AI PLAYを [ON] にすると設定した時間に再生が始まり、音量が [ON VOLUME] で設定したところまで徐々に大きくなります。

※[OFF] に設定すると [ON VOLUME] で設定した音量で再生が始まります。

関連機能 | 時計を合わせる (TIME ADJUST) P69

[PLAY SOURCE]　再生する音源を選ぶ

❶ 音源を選びます。

PLAY SOURCE
TUNER

放送局（プリセット番号）を選ぶ ▶ 右に1回だけ押す ▶ 手順❷へ

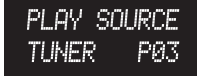
CD
MEMORY
AUX

▶

※[PLAY/REC]（43ページ参照）で[TIMER REC]を選んでいる場合、[MEMORY]、[CD]を選ぶことはできません。

❷ 放送局（プリセット番号　P01 ～ P40）を選びます。

PLAY SOURCE
TUNER　P03

▶

※プリセット番号については22 ～ 24ページ参照。

[REC MODE]　録音モードを選ぶ（TIMER RECのみ有効）

※録音モードの設定については56 ～ 61ページ参照。

REC MODE
HQ

▶

SQ

▶ ENTER

タイマーを使う（つづき）

4 電源をOFFにする

※タイマーが設定されてスタンバイ状態になると［タイマーセット　サレマシタ］と表示され、スタンバイ・タイマーインジケーターが橙色に点灯します。

※電源プラグを差し直したり停電があった場合は、［トケイセッテイ　カクニン］と表示され、スタンバイ・タイマーインジケーターが橙色に点滅します。もう一度時計を合わせてください。

■タイマーを解除（OFF）/ 再設定（ON）するには

TIMER

押すごとに切り換わります。

※電源をONにしてから行ってください。

1 点灯	2 点灯	12 点灯	12 消灯
PROGRAM 1がONの状態	PROGRAM 2がONの状態	PROGRAM 1,2がONの状態	タイマーがOFFの状態

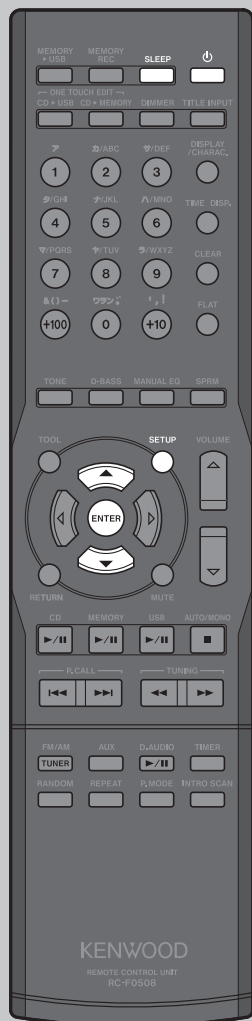
この操作は本体でも行うことができます。

タイマーの内容を確認、変更したい場合や設定を間違えた場合は、設定を初めからやり直してください。

タイマーを設定した後に再生などを楽しんでも、タイマーの設定には影響ありません。

タイマー作動中に、「メモリカードからUSBオーディオプレーヤーへ転送する」（30ページ）、「曲を消す」（36ページ）、「メモリカード内のすべてのデータを消去する」（67ページ）を行うと終了時間になっても電源がOFFになりません。

おやすみタイマーを設定する（SLEEP）

設定した時間が過ぎると、自動的に電源がOFFになります。

1 SLEEPキーを押し時間を設定する

SLEEP

押すごとに切り換わります。

SLEEP
30min.

※押すごとに10分ずつ増えます。
　最大で90分まで設定できます。

※ [OFF] を選ぶと解除できます。

※ が点灯します。

■SYSTEM SETUPから設定するには

❶ SETUPキーを押し [SYSTEM SETUP] を選び、ENTERキーで決定します。

❷ [SLEEP] を選び、ENTERキーで決定します。

❸ MULTI CONTROLキーの上下で時間を設定し、ENTERキーで確定します。

Hint

この操作は本体でも行うことができます。

おやすみタイマー設定中に、「メモリカードからUSBオーディオプレーヤーへ転送する」（30ページ）、「曲を消す」（36ページ）、「メモリカード内のすべてのデータを消去する」（67ページ）を行うとおやすみタイマーがOFFになります。

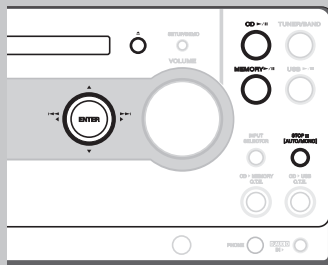
■おやすみタイマーを解除、または再設定するには

※電源をOFFにするか、または [OFF] を選びます。

TOOLからワンタッチエディット録音する

準備

表示が点灯している場合は、RANDOMキーを押してランダム再生モードを解除してください。

※録音モードの設定を変更するには
56～61ページ参照。

メモリカードからUSBオーディオプレーヤーへの録音は、曲ファイルの転送となります。曲ファイルが移動するのでメモリカード内からは曲ファイルがなくなります。

1 音源をメモリカードに切り換える

MEMORY ►/II

2 転送したい曲ファイルまたは、フォルダを選ぶ

※選び方は「お使いになる前に編」24ページ参照。

3 TOOLキーを押し[MEM→USB MOVE]を選び決定する

TOOL

4 転送を始める

MEM→USB MOVE
OK

※行わない場合は[CANCEL]を選んでください。

転送に関するその他の詳細や操作については30ページ参照。
選択や決定などの操作は本体でも行うことができます。

関連機能 メモリカードからUSBオーディオプレーヤーへ転送する P30

CDの曲をUSBオーディオプレーヤー、メモリカードに録音する

1 音源をCDに切り換える

CD ►/II

2 CDの状態を確認する

再生中の場合	再生している曲を録音します。
停止中の場合	CD内の全曲を録音します。
プログラムモード停止中の場合	プログラムモードで指定した曲を録音します。

3 TOOLキーを押し [O.T.E. MODE] を選び決定する

▶O.T.E. MODE
EXIT

4 録音先を選ぶ

O.T.E. START
CD → USB

例）USBオーディオプレーヤーに録音する場合。

O.T.E. START
CD → MEMORY

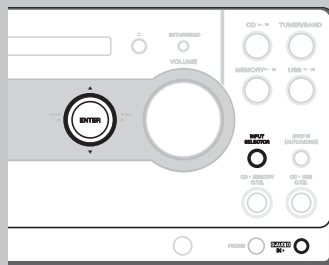
例）メモリカードに録音する場合。

※ [RETURN] を選ぶと前の表示に戻ります。

5 録音を開始する

録音に関するその他の詳細や操作については26 ～ 29ページ参照。
選択や決定などの操作は本体でも行なうことができます。

外部機器の入力レベルを調整する

同じボリュームでも外部機器の音がその他の音源より大きく、または小さく感じた場合は、入力レベルを調整して合わせることができます。

1 調整したい音源（AUXまたはD.AUDIO）に切り換える

AUX または D.AUDIO ►/II

INPUT SELECTOR 押すごとに切り換わります。

AUX ► D.AUDIO

2 TOOLキーを押し [INPUT LEVEL] を選び決定する

TOOL

INPUT LEVEL
EXIT

※ [EXIT] を選ぶと、もとの表示に戻ります。

3 入力レベルを調整する

INPUT LEVEL
D.AUDIO +3

－3 ～＋3の範囲で調整します。

※入力レベルの調整は手順1で選んだ音源に対してのみ有効です。

4 確定する

Hint

入力レベルを調整すると、AUX端子、D.AUDIO IN端子に接続された外部機器から録音するときの音量も変わります。
カーソルの移動や決定などの操作は本体でも行うことができます。

関連機能 外部機器の曲を聞く（AUX接続） P9 | ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーの曲を聞く P10 | ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーの曲を録音する P32 | 外部入力（AUX）から録音する P34

USBオーディオプレーヤーまたはメモリカード内のフォルダ数、曲ファイル数を確認する

USBオーディオプレーヤーまたはメモリカード

USBオーディオプレーヤーまたはメモリカードのKWDフォルダ内のフォルダと曲ファイルの数を確認することができます。録音やリフレッシュを行う前に併せてお使いください。

1 音源を切り換える

USB ►/II または MEMORY ►/II
2 TOOLキーを押し[USB ヨウリョウ]または[MEMORY ヨウリョウ]を選び決定する

TOOL
USB ヨウリョウ
REFRESH

または

MEMORY ヨウリョウ
REFRESH

3 現在のフォルダ数、曲ファイル数を確認する

FOLDER 12/200
FILE 39/1000

※USBオーディオプレーヤー選択時は USB 、メモリカード選択時は MEMORY が点滅します。

※本機で扱えるのはフォルダ数200、曲ファイル数1000までです。「お使いになる前に編」24ページ参照。

ルート直下に曲ファイルがある場合は、その数も曲ファイル数に含まれます。

■もとの画面表示に戻すには

TOOL または AUTO/MONO
STOP ■ [AUTO/MONO]

リフレッシュ機能でフォルダを整理する P52 | 曲をもっと録り貯めるには（メモリカードの交換） P53

リフレッシュ機能でフォルダを整理する

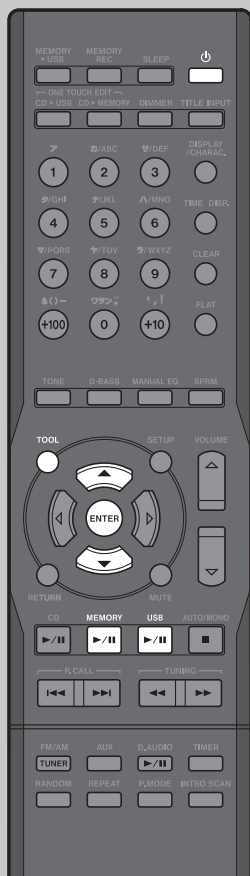
USBオーディオプレーヤーまたはメモリカード

リフレッシュを行うとUSBオーディオプレーヤーやメモリカードの飛び飛びになっているフォルダ名（AL_XXX）を整理し連番で番号を付け直します。

準備

USBオーディオプレーヤー、メモリカードが停止しているか確認してください。

1 音源を切り換える

USB ►/❚❚ または MEMORY ►/❚❚

2 TOOLキーを押し[REFRESH]を選び決定する

TOOL ▶

▶

MEMORY ﾖｳﾘｮｳ
➲REFRESH

3 [OK]を選び決定する

REFRESH
OK

▶

※行わない場合は[CANCEL]を選んでください。

■ リフレッシュが終了すると

フォルダの番号が自動で新たに付け直されます。

選択や決定などの操作は本体でも行うことができます。

関連機能 | メモリカードからUSBオーディオプレーヤーへ転送する P30 | 曲をもっと録り貯めるには（メモリカードの交換） P53

曲をもっと録り貯めるには（メモリカードの交換）

準備

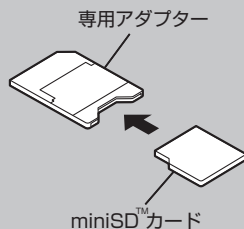
メモリカードの交換はスタンバイ状態時に行ってください。

※32MB ～ 2GBまでのSDメモリカードが使用できます。SDHC（4GB以上）は使えません。使用可能なメモリカードの情報は当社ホームページをご覧ください。

http://www.kenwood.co.jp/faq/uda77_55/

※記録前に、本機で初期化することをお勧めします。（67ページ参照）

SDメモリカードまたはminiSD™カードが使えます。

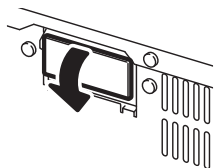
※miniSD™カードの場合は専用アダプターが必要です。

パソコンと併せてもっと便利にお使いいただけます。

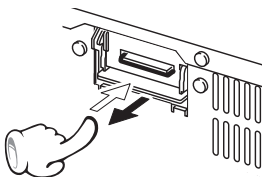
■パソコンで録り貯めた曲ファイルを移動する。

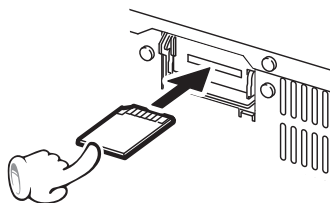
■パソコンを使ってメモリカード内の曲を整理する。

詳しくは

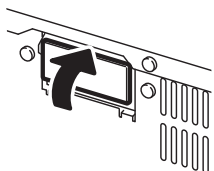
http://www.kenwood.co.jp/faq/uda77_55/

1 メモリカードスロットのふたを開ける

※録音中は絶対にメモリカード挿入部のふたを開けないでください。録音が停止し正常に録音が行えません。

2 メモリカードを取り出す

メモリカードを一度軽く押し込んでください。

3 交換用のメモリカードを入れる

ラベル面を下にして、カットされた部分が左になるように入れます。

※奥までしっかり入れてください。

4 メモリカードスロットのふたを閉める

※ふたが開いたままだと再生や録音が行えません。

ディスプレイ表示切り換え

※表示できる時間は9999分59秒までです。それを越えると「----：--」と表示されます。

音源	ボタン	録音中のディスプレイ表示
USB / MEMORY	DISPLAY /CHARAC.	録音もとの音源表示 ▶ USBオーディオプレーヤー / メモリカード 録音表示
	TIME DISP.	USBオーディオプレーヤー / メモリカード録音残量時間 REC REMAIN 点灯 ※メモリカードからUSBオーディオプレーヤーへの転送中は、時間表示されません。
CD	DISPLAY /CHARAC.	
	TIME DISP.	
TUNER	DISPLAY /CHARAC.	

関連機能 曲を聞く P6~P8 外部機器の曲を聞く（AUX接続） P9

再生中のディスプレイ表示

録音の設定をする

本機には多彩な録音機能がありますが、それぞれの録音について詳細な機能を設定することができます。

より使いやすく、お好みに合わせて、各項目を設定することをお勧めします。

準備

SETUPキーを押し[REC SETUP]を選んでおきます。

SETUP

▼

SYSTEM SETUP
▶REC SETUP

▼

録音モードを設定する (REC MODE)

USBオーディオプレーヤー、メモリカードに録音する場合、音質や録音できる長さを設定することができます。

1 [REC MODE] を選び決定する

▶REC MODE
O.T.E. SPEED

▶

※[RETURN]を選ぶと、前の表示に戻ります。

2 録音モードを選ぶ

MEMORY/USB
SQ

または

MEMORY/USB
HQ

SQを選んだ場合

標準的な音質で録音します。HQにくらべて、録音可能時間が長くなります。
ビットレート：128kbps

HQを選んだ場合

高音質で録音します。SQにくらべて、録音可能時間が短くなります。
ビットレート：192kbps

3 確定する

この操作は本体でも行うことができます。

関連機能 | CDの曲を録音する(ワンタッチエディット録音) P26~P29 | ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーの曲を録音する P32

録音スピードを設定する（O.T.E. SPEED）

USBオーディオプレーヤー、メモリカードに録音する場合の録音スピードを設定することができます。

[O.T.E. SPEED] を選び決定する

REC MODE
●O.T.E. SPEED

※**HIGH**が点滅します。
※[RETURN]を選ぶと、前の表示に戻ります。

2 録音スピードを選び確定する

O.T.E. SPEED
HIGH

または

O.T.E. SPEED
NORMAL

※[HIGH]を選ぶと、4倍速録音になります。

この操作は本体でも行うことができます。
HIGH SPEEDで録音している場合、音は出ません。
録音入力をANALOGに設定してある場合に [HIGH] を選ぶと、録音入力がDIGITALに切り換わります。（下記参照）
転送速度が低いメモリカードを使った場合、HIGH SPEED録音ができないことがあります。その場合は [NORMAL] を選んでください。

録音入力を設定する（REC INPUT）

CDをUSBオーディオプレーヤー、メモリカードに録音する場合、デジタル入力にするかアナログ入力にするかを設定することができます。

[REC INPUT] を選び決定する

O.T.E. SPEED
●REC INPUT

※**DIGITAL**、**ANALOG**が点滅します。
※[RETURN]を選ぶと、前の表示に戻ります。

2 録音入力を選び確定する

REC INPUT
DIGITAL

または

REC INPUT
ANALOG

※録音入力をDIGITALに設定しても、録音もとの音源がアナログの場合はアナログ録音になります。

この操作は本体でも行うことができます。
録音入力のANALOG設定は、電源をOFFにすると解除されます。（通常、録音入力はDIGITALです）
録音スピードをHIGHに設定してある場合に [ANALOG] を選ぶと、録音スピードがNORMALに切り換わります。（上記参照）

ラジオ（FMまたはAM）を録音する P34
外部入力（AUX）から録音する P34
外部機器の入力レベルを調整する P50

録音の設定をする（つづき）

録音レベルを調整する（REC　LEVEL）

メモリカードやD.AUDIO 出力端子に接続した機器に録音した音が歪む、または小さいと感じた場合は、録音レベルを調整してください。

※SETUPキーを押し [REC SETUP] を選択しておいてください。（56ページ参照）

1 [REC　LEVEL] を選び決定する

REC INPUT
›REC LEVEL

※[RETURN]を選ぶと、前の表示に戻ります。

2 設定したい録音先を選び決定する

MEMORY/USB
D.AUDIO

※[RETURN]を選ぶと、前の表示に戻ります。

3 録音レベルを調整する

MEMORY/USB
LEVEL　+ 2

例）[MEMORY/USB] を選んだ場合。

D.AUDIO
LEVEL HIGH

例）[D.AUDIO] を選んだ場合。

MEMORY/USBの場合

−2 ～＋2の範囲で調整できます。

D.AUDIOの場合

HIGHまたはLOWを選びます。

※D.AUDIO 出力端子にケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーを接続する場合は、それぞれの機器に最適な録音レベルを選びます。

M1GB5、M512B5を接続した場合 ➡ 本機：HIGH、M1GB5・M512B5：調整なし

M2GC7、M1GC7を接続した場合 ➡ 本機：HIGH、M2GC7・M1GC7：Mid

4 確定する

この操作は本体でも行うことができます。

トラックマークの付け方を設定する（TRACK MARK）

メモリカードにラジオやD.AUDIO IN端子やAUX入力端子に接続した機器の音を録音している場合は、トラックマークを自動または手動で付けるかを設定します。

本機ではトラックマークからトラックマークの間を曲と見なします。

※SETUPキーを押し [REC SETUP] を選択しておいてください。（56ページ参照）

1 [TRACK MARK] を選び決定する

REC LEVEL
TRACK MARK

※[RETURN]を選ぶと、前の表示に戻ります。

2 自動または手動にするかを選び確定する

TRACK MARK
AUTO

または

TRACK MARK
MANUAL

AUTO（トラックマークを自動で付ける）を選んだ場合

AUTO（自動で付ける）を選んだ場合は、トラックマークを何分ごとに付けるか（AUTO MARK）を設定できます。（60ページ参照）

※CDから録音している場合は、設定に関わらず、曲ごとに自動でトラックマークが付きます。

※ラジオを録音している場合は、AUTO MARKで設定した間隔でトラックマークが付きます。

※D.AUDIO IN端子やAUX入力端子に接続した機器の音を録音している場合は、無音状態が2秒以上続くと、その箇所にトラックマークが付きます。

MANUAL（トラックマークを手動で付ける）を選んだ場合

録音中にトラックマークを付けたいところでENTERキーを押してください。

この操作は本体でも行うことができます。

設定により無音状態が2秒以上続くと、その箇所にトラックマークが自動で付きますが、音源からのノイズなどによって、トラックマークが付かない場合もあります。

外部入力（AUX）から録音する P34
外部機器の入力レベルを調整する P50

録音の設定をする（つづき）

トラックマークの間隔を設定する（AUTO MARK）

ラジオを録音しているときトラックマークを自動で付ける場合は、何分ごとに付けるか設定できます。
トラックマークを自動で付ける設定にしておいてください。（59ページ参照）
※SETUPキーを押し [REC SETUP] を選択しておいてください。（56ページ参照）

1 [AUTO MARK] を選び決定する

TRACK MARK
›AUTO MARK

※[RETURN] を選ぶと、前の表示に戻ります。

2 間隔を設定する

AUTO MARK
5 min.

5 min.	10 min.	OFF
5分間隔でトラックマークを付けます。	10分間隔でトラックマークを付けます。	無音状態が2秒以上続くとその箇所にトラックマークを付けます。

3 確定する

この操作は本体でも行うことができます。
設定により無音状態が2秒以上続くと、その箇所にトラックマークが自動で付きますが、音源からのノイズなどによって、トラックマークが付かない場合もあります。

録音時に曲名などをコピーするか設定する（TEXT　COPY）

USBオーディオプレーヤー、メモリカードにCD-TEXT対応のディスクを録音する場合に、曲名やアルバム名などの文字情報を一緒にコピーするかを設定します。
（ワンタッチエディット録音のみ　26 ～ 29ページ参照）

※SETUPキーを押し [REC SETUP] を選択しておいてください。（56ページ参照）

[TEXT COPY] を選び決定する

AUTO MARK
TEXT COPY

※[RETURN]を選ぶと、
前の表示に戻ります。

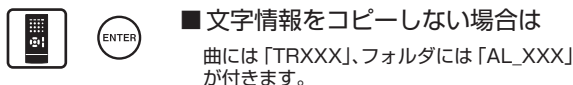
2 [ON] または [OFF] を選ぶ

TEXT COPY
ON

ON
文字情報をコピーします。

OFF
文字情報をコピーしません。

確定する

■文字情報をコピーしない場合は
曲には「TRXXX」、フォルダには「AL_XXX」が付きます。

この操作は本体でも行うことができます。

メモリカードにラジオを録音する場合に、放送局がオートプリセットされていて放送局名が記憶されていると、放送局名がフォルダ名としてコピーされます。放送局名が記憶されていない場合は、周波数がフォルダ名としてコピーされます。（22ページ参照）

文字情報は録音終了後に編集できます。（40ページ参照）

外部入力（AUX）から録音する P34 | 名前の変更 P40

音質の設定をする

音源によっては効果が分かりにくいことがあります。

準備

SETUPキーを押し
[SOUND SETUP] を選んでおきます。

REC SETUP
SOUND SETUP

低音を強調する（D-BASS）

[D-BASS] を選び決定する

D-BASS
TONE

※ **D-BASS** が点灯します。
※ [RETURN] を選ぶと、前の表示に戻ります。

2 お好みのレベルに調整する

1 ～ 10の範囲で1ずつ調整できます。

3 確定する

※ 調整前にD-BASS機能がOFFだった場合は、設定後ONになります。

この操作は本体でも行うことができます。

関連機能 | お好みの音質で聞く P18

低音と高音を調整する（TONE）

[TONE] を選び決定する

※**TONE** が点灯します。
※[RETURN]を選ぶと、
前の表示に戻ります。

2 お好みのレベルに調整する

低音または高音
を選んで

TONE ON
BASS +4

TONE ON
TREBLE +4

調整する

＋8 ～－8の範囲
で2ずつ調整でき
ます。

＋8 ～－8の範囲
で2ずつ調整でき
ます。

3 確定する

※調整前にTONE機能が
OFFだった場合は、設定
後ONになります。

この操作は本体でも行うことができます。

音質の設定をする（つづき）

お好みの音質を登録する（MANUAL　EQ）

本機搭載の本格的な7バンドのイコライザーで、重低音域から超高音域まで調整して、お好みの音質になるような音域のカーブを作ることができ、3種類（USER　1～3）まで登録できます。

※SETUPキーを押し［SOUND SETUP］を選択しておいてください。（62ページ参照）

1 [MANUAL EQ] を選び、[USER 1 ～ 3] を選ぶ

※ **EQ**が点滅します。

※[RETURN]を選ぶと、前の表示に戻ります。

※[RETURN]を選ぶと、前の表示に戻ります。

2 お好みのレベルに調整し、確定する

周波数を選んで

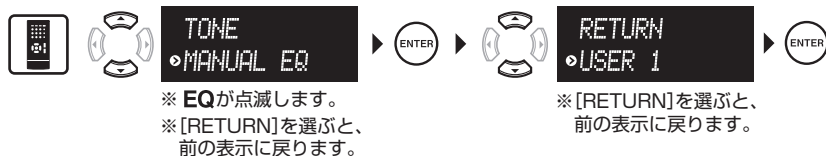
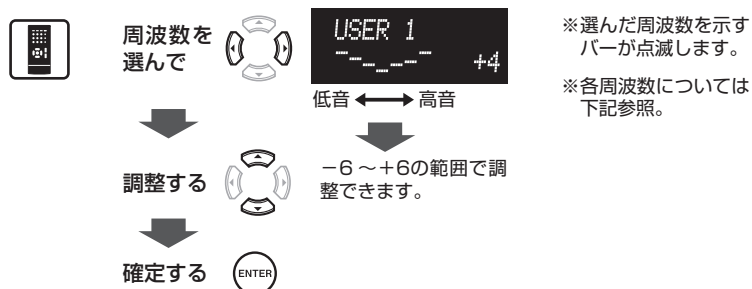
低音 ⟷ 高音

※選んだ周波数を示すバーが点滅します。

※各周波数については下記参照。

調整する

－6～＋6の範囲で調整できます。

確定する　ENTER

低音 ↕ 高音

重低音域の調整（63Hz）	このレベルを上昇させると、ベースやバスドラムのような低音域の楽器がどっしりとした安定感のある音として再生されます。また、重低音域が響きすぎると感じられる場合は、適当と思われる所まで下降させます。
低音域の調整（160Hz）	日本の建築様式では欧米の家屋に比べ密閉度が低いため、リスニングルームの共振点がこの周波数帯にあり、低音が出過ぎる感じになりやすいものです。従って、リスニングルームの共振を防ぐためにこの低音域を下降させることが多いようです。
中低音域の調整（400Hz）	音楽の基礎となるこの音域の音は、やせているとか、豊かだと感じられる所です。もの足りない音だと思われる場合は、このレベルをわずかに上昇させると、豊かな感じの音になります。
中音域の調整（1kHz）	この中音域を調整すると、ボーカルが入っている曲では歌手の声が前に出たり、奥に引っ込むような感じになり、臨場感に影響を与えます。音の奥行きと深みに関係する帯域です。
中高音域の調整（2.5kHz）	この周波数帯域は、刺激の強い、金属的で硬い音として感じられる所です。うまく調整すれば、爽快さや明るさが出てきますが、反面うるさい感じになることもあります。
高音域の調整（6.3kHz）	この周波数帯域は、硬い感じ、柔らかい感じなど、音楽のイメージに影響を与える所です。上昇させると弦楽器（バイオリンなど）や、管楽器（フルート、ピッコロなど）が張りのある音になり、下降させるとおとなしい感じの音になります。
超高音域の調整（16kHz）	この周波数帯域は、音の広がりや繊細感に影響を与えるところです。上昇させると超高音域の楽器（トライアングル、シンバルなど）が快く響き、音の広がりや繊細感が増します。

この操作は本体でも行うことができます。

関連機能｜お好みの音質で聞く P18

より原音に近い音で楽しむ（SUPREME）

USBオーディオプレーヤー、メモリカードのみ。

※SETUPキーを押し [SOUND SETUP] を選択しておいてください。（62ページ参照）

[SPRM] を選び決定する

※ **SPRM** が点滅します。

※[RETURN]を選ぶと、前の画面に戻ります。

2 [ON] または [OFF] を選び確定する

ON
スピーカーの左右バランスを変更する（BALANCE）

※SETUPキーを押し [SOUND SETUP] を選択しておいてください。（62ページ参照）

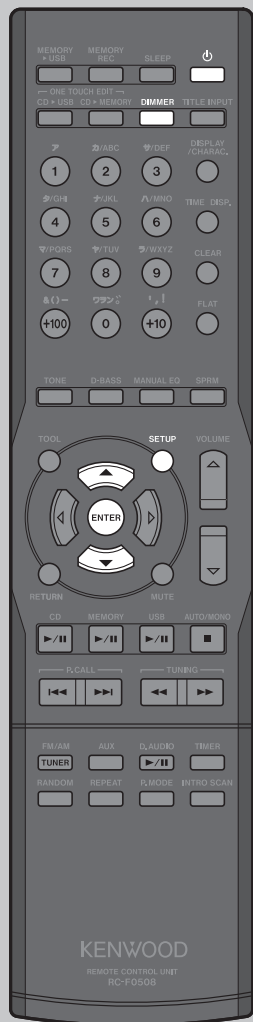
[BALANCE] を選び決定する

※[RETURN]を選ぶと、前の表示に戻ります。

2 バランスを調整し、確定する

この操作は本体でも行うことができます。

ディスプレイの明るさを調整する（DIMMER SET）

DIMMER SETはディスプレイの明るさを3段階で調整できます。お好みやお部屋の状態によって調整してください。

1 DIMMER SETキーを押し明るさを調整する

DIMMER

押すごとに
切り換わります。

DIMMER 1 ▶ **DIMMER 2** ▶ **DIMMER 3** ▶ **DIMMER OFF** ▶ **DIMMER 1**

- **DIMMER 1**：ディスプレイの明るさが下がります。
- **DIMMER 2**：ディスプレイの明るさが下がったままLEDが消灯します。
- **DIMMER 3**：LEDが消灯したままディスプレイの明るさがもとに戻ります。
- **DIMMER OFF**：ディスプレイ、LEDともにもと通り点灯します。

■SYSTEM SETUPから設定するには

❶ SETUPキーを押し［SYSTEM SETUP］を選び、ENTERキーで決定します。

❷［DIMMER SET］を選び、ENTERキーで決定します。

❸ MULTI CONTROLキーの上下で明るさを調整し、ENTERキーで確定します。

```
DIMMER SET
DIMMER 1
```

この操作は本体でも行うことができます。

メモリカード内のすべてのデータを消去する（MEMORY FORMAT）

MEMORY FORMATは本機で録音、作成したフォルダや曲ファイルだけでなく、メモリカード内のすべてのデータを消去します。

※消去したデータをもとに戻すことはできません。ご注意ください。

ご注意

データの消去中は、絶対にメモリカードを抜かないでください。故障の原因となります。

準備

メモリカード内のすべてのデータを消去する（MEMORY FORMAT）場合は、音源をメモリカードに切り換えておきます。

SETUPキーを押し[SYSTEM SETUP]を選んでおきます。

SETUP

SYSTEM SETUP
REC SETUP

1 [MEMORY FORMAT]を選ぶ

MEMORY FORMAT
A.P.S.

※[RETURN]を選ぶと、前の表示に戻ります。

2 実行するかを選ぶ

MEMORY FORMAT
FORMAT READY

※[CANCEL]を選ぶと、前の表示に戻ります。

3 実行するかを確認する

MEMORY FORMAT
FORMAT OK?

※消去したデータをもとに戻すことはできないので、本当に消去するかどうか再度確認します。

※[CANCEL]を選ぶと、前の表示に戻ります。

4 確定する

MEMORY FORMAT
MEMORY CARDヲ

※[MEMORY CARDヲ ヌカナイデクダサイ]とスクロール表示されます。

■消去が終了すると

MEMORY FORMAT
COMPLETE

[COMPLETE]と表示されます。

※終了後は手順1の表示に戻ります。

この操作は本体でも行うことができます。

本機でMEMORY FORMATしたメモリカードは、他の機器で使えないことがあります。

メモリカードの種類によっては、MEMORY FORMATに時間がかかる場合があります。

関連機能 | リフレッシュ機能でフォルダを整理する P52 | 曲をもっと録り貯めるには（メモリカードの交換） P53

オートパワーセーブ機能を設定する（A.P.S.）
時計を合わせる（TIME ADJUST）

A.P.S.とはAuto Power Save（オートパワーセーブ）の略で、電源がONでCDが停止状態のまま30分以上何も操作しなかった場合、自動的に電源がOFFになる機能です。

準備

SETUPキーを押し
[SYSTEM SETUP]を選んでおきます。

SETUP

SYSTEM SETUP
REC SETUP

1 [A.P.S.]を選ぶ

MEMORY FORMAT
A.P.S.

※ **A.P.S.** が点滅します。

2 [ON]または[OFF]を選ぶ

A.P.S.
ON

※ **A.P.S.** が点滅します。

3 確定する

※ONの場合は **A.P.S.** が点灯します。

時計を合わせる（TIME ADJUST）

1 [TIME ADJUST] を選ぶ

A.P.S.
TIME ADJUST

※[RETURN]を選ぶと、
前の表示に戻ります。

2 曜日、時、分を合わせる

※選ばれている項目が点滅します。

項目を選んで

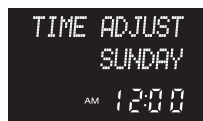
曜日 ▶ 時 ▶ 分

合わせます

TIME ADJUST
SUNDAY

AM 12

:00

TIME ADJUST
SUNDAY
AM 12:00

※昼の12:00は [PM12:00]、
夜の12:00は [AM12:00] と
表示されます。

3 確定する

この操作は本体でも行うことができます。

電源プラグを差し直したり停電があった場合は、もう一度時計を合わせてください。
時計の精度には若干の誤差がありますので、定期的に時計を合わせることをお勧めします。

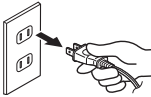
■電源がOFF（スタンバイ状態）のとき
時刻を表示させるには

AUTO/MONO

STOP ■
[AUTO/MONO]

※5秒間表示
されます。

関連機能 タイマーを使う P42~P46 ｜ おやすみタイマーを設定する（SLEEP） P47

メッセージ表示一覧
マイコンをリセットするには

メッセージ表示一覧

ディスプレイ表示	意　味
CHECK DISC	● TOC＊情報を読むことができない。 ● ディスクが正しく挿入されていない。
Lock　サレテイマス	● メモリカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」になっている。
MEMORYヲカクニン ヨウリョウガアリマセン	● 録音開始時、メモリカードに録音可能な空き容量がない ● フォルダ数が200、またはファイル数が1000に達している。
Normal Speed ニ キリカエテクダサイ	● メモリカードの仕様によっては、メモリカードへの書き込みが追いつかない。
PGM FULL	● CDのプログラムで33曲目を選択しようとしている。 プログラムできるのは32曲まで。
RANDOM MODE	● ランダム再生のときに O.T.E.録音をしようとしている。 →ランダム再生を解除する。
READING	● TOC＊情報を読み込んでいる。
TEXT FULL	● 1536バイト以上のテキスト情報があるCD-TEXTのテキスト情報を表示しようとしている。
TITLE FULL	● USBオーディオプレーヤーまたはメモリカードの最大文字数の制限を超えて、タイトルを入力しようとしている。 →入力できる文字数はフォルダ、曲ファイルにつきそれぞれ28文字まで。
USB ヲカクニン ヨウリョウガアリマセン	● 録音開始時、USBオーディオプレーヤーに録音可能な空き容量がない。 ● フォルダ数が200、またはファイル数が1000に達している。
カード　ガ　アリマセン	● メモリカードが入っていない。 ● メモリカードが正しく挿入されていない。
サイセイ　デキマセン	● 著作権保護付きのファイルを再生しようとしている。
セツゾク　カクニンチュウ	● USBオーディオプレーヤーが正しく接続されていない。 ● USBオーディオプレーヤーとの接続を確立中。
セレクター　ヲカクニン MEMORY　ヘキリカエ	● 音源がMEMORY以外の場合にMEMORY FORMATをしようとしている。 →音源をMEMORYに切り換える。
テンソウ　エラー USB　ヲカクニン	● USBオーディオプレーヤーに録音可能な空き容量がない。 →不要な曲ファイルを消す。
ファイルガ　アリマセン	● 本機で再生できるファイル（MP3、WMA）がない。
ヘンシュウ　エラー	● 曲ファイル以外のファイルが入っている可能性がある。 →パソコンと合わせてUSBオーディオプレーヤー、メモリカードを確認する。

ディスプレイ表示	意　味
リフレッシュシテクダサイ	● フォルダ名がAL_Z90番台になっている。 →リフレッシュを行いフォルダ名を整理する。
ロクオン　テイシ ヨウリョウガアリマセン	● メモリカードに録音可能な空き容量がない。 →不要な曲ファイルを消す。消したくない場合は、録音用のメモリカードを入れ換える。 ● USBオーディオプレーヤーに録音可能な空き容量がない。 →不要な曲ファイルを消す。 ● 録音中、作業領域が必要となるため、この表示が出た後でも録音可能な空き容量がある場合がある。
「？」の点滅	● 設定や編集を実行してもよろしいですか？ という確認のためのメッセージ。

＊CDには音声信号以外にTOC（Table of Contents）という情報が記録されています。TOCとは本の目次に相当し、曲数や演奏時間、文字情報などのうち、書き直すことのできないものが入っています。

マイコンをリセットするには

症　状	処　置
マイコンが誤動作（操作できない、表示部の誤表示など）する	● 電源がONのときの接続コードの抜き差しや、外部からの要因により、誤動作することがあります。 次の手順に従い、マイコンをリセットしてください。 ❶ 電源プラグをコンセントから抜きます。 ❷ 再度本体のPOWERキーを押しながら、電源プラグを差し込み直します。 ❸ INITIALIZE マイコンをリセットすると左記のディスプレイが表示されます。 ※リセットにより、各種の記憶内容は消滅し、お買い上げ時の状態となります。ご了承ください。

故障かな？と思ったら

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に、症状にあわせて一度チェックしてみてください。

アンプ部・スピーカー部

症状	処置	参照ページ
音が出ない	●「接続のしかた」を参照し、正しく接続し直す。 ● 音量を上げる。 ● ミュートを解除する。 ● ヘッドホンが差し込まれている場合はプラグを抜く。	「お使いになる前に編」12 「お使いになる前に編」28 「お使いになる前に編」28 「お使いになる前に編」14
スタンバイ・タイマーインジケーターの表示が赤く点滅し、音が出ない	● 使用を中止する。内部的な不具合が発生したことが考えられます。電源を切り、電源プラグを抜いて修理をご依頼ください。	——
スタンバイ・タイマーインジケーターの表示が橙色に点滅する	● 現在時刻をもう一度合わせる。 ● タイマーの開始時刻と終了時刻を設定する。	69 44
ヘッドホンから音が出ない	● ヘッドホンプラグが正しく差し込まれているか確認する。 ● 音量を上げる。	「お使いになる前に編」14 「お使いになる前に編」28
スピーカーの片側から音が出ない	●「接続のしかた」を参照し、正しく接続し直す。 ● RD-AUDA55の場合、接続しているスピーカーの取扱説明書も併せてご覧ください。 ● スピーカーの左右バランスを調整する	「お使いになる前に編」12 65
時刻表示が、ある時間で止まったまま点滅している	●「時刻を合わせる」を参照し、時刻を合わせる。	69
タイマーが作動しない	●「時刻を合わせる」を参照し、時刻を合わせる。 ● タイマーの開始時刻と終了時刻を設定する。	69 44

チューナー部

症状	処置	参照ページ
放送局が受信できない	● アンテナを接続する。 ● 放送バンドを合わせる。 ● 受信したい放送局の周波数に合わせる。	「お使いになる前に編」12 20 20
雑音が入る	● 外部アンテナを道路から離して設置する。 ● 電気器具の電源を切ってみる。 ● テレビから離す。	——
オートプリセット後、P.CALLキーを押しても受信できない	● もう一度オートプリセットする。 ● 受信できる周波数の放送局をマニュアルプリセットする。	22 24

メモリカード部

症　状	処　置	参照ページ
メモリカードを入れても音が出ない	● メモリカードを正しく入れる。 ● 曲ファイルが入っているメモリカードを入れる。	53
録音が途中で止まる	● メモリカードに録音可能な空き容量がない。 不要な曲を消す。消したくない場合は、 録音用のメモリカードを入れ替える。	36
録音または編集ができない	● 書き込み禁止スイッチをもとに戻すか、録音可能なメモリカードに取り換える。 ● 録音したい音源に切り換える。	―――
録音後、一部のフォルダが見えなくなる	● フォルダ数が200に達しているので、 不要なフォルダを消す。	「お使いになる前に編」23
フォルダを削除できない	● 曲ファイル以外のファイルが入っている可能があります。パソコンと合わせてメモリカードをご確認ください。	―――
メモリカード内のすべてのフォルダ、ファイルが見えない	● メモリカードのデータが破損、または本機で認識できないファイルが入っている可能性があります。	―――

USB部

症　状	処　置	参照ページ
USBオーディオプレーヤーを接続しても音が出ない	● USBケーブルを正しく接続する。 ● USBオーディオプレーヤーの電源が入っているか確認する。	「お使いになる前に編」14
フォルダを削除できない	● 曲ファイル以外のファイルが入っている可能があります。パソコンと合わせてUSBオーディオプレーヤーをご確認ください。	―――

故障かな？と思ったら

CD部

症　状	処　置	参照ページ
CDを入れても再生できない	● レーベル面を上にして、正しく入れる。 ●「CDディスクの保管とお手入れ」を参照し、ディスクを清掃する。 ●「結露にご注意」を参照し、露を蒸発させる。	8 「お使いになる前に編」30 「お使いになる前に編」30
音声が出ない	● CD ▶/II キーを押す。 ●「CDディスクの保管とお手入れ」を参照し、ディスクを清掃する。	8 「お使いになる前に編」30
音とびがする	●「CDディスクの保管とお手入れ」を参照し、ディスクを清掃する。	「お使いになる前に編」30
CD ⏏ キーを押しても[LOCKED]と表示され、ディスクが出てこない	● 電源プラグをコンセントから抜き、⏻キーを押しながら差し込み直す。	71

D.AUDIO IN端子に接続した機器

症　状	処　置	参照ページ
ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーがリモコン/本体で操作できない	● 別売の専用ケーブル PNC-150で接続する。 ● 非対応モデルを接続している。	「お使いになる前に編」14 10

リモコン部

症　状	処　置	参照ページ
リモコンで操作できない	● 新しい電池に入れ換える。 ● 操作範囲内で操作する。	「お使いになる前に編」19 「お使いになる前に編」19

用語集

用　語	意　味	ページ
CD-DA	音楽CDのこと。一般的に「CD」といえば、ほとんどの場合、CD-DAを指す。	「お使いになる前に編」20
CD-TEXT	ディスク名、アーティスト名、曲名等の文字情報が記録された音楽CDの呼称。	8
MP3	独Fraunhofer IISが開発した音声圧縮方式のひとつで、人間の聞き取りにくい部分のデータを間引くことによって高い圧縮率を得ることができ、音楽CD並みの音質を保ったまま約1/11(128kbps)に圧縮することができる。	「お使いになる前に編」21
SDHC	4GB以上の容量を持つSDメモリカードの上位規格。本機では対応していません。	「お使いになる前に編」20
USBハブ	複数のUSB機器を同時に接続するためのアダプター。	「お使いになる前に編」21
USBマスストレージクラス	パソコンにUSB機器を接続するための規格。またパソコンに接続したUSB機器が、パソコン側から外部記憶装置として認識されること。	「お使いになる前に編」14、21
VBR（可変ビットレート）	音楽の情報量に合わせて、ビットレートを変化させて割り当てる方式。	「お使いになる前に編」33
WMA	Microsoft社が開発した音声圧縮方式で、人間の聞き取りにくい部分のデータを間引くことによって高い圧縮率を得ることができ、音楽CD並みの音質を保ったまま約1/22(64kbps)まで圧縮することが可能。	「お使いになる前に編」21
サンプリング周波数	アナログ信号からデジタル信号への変換を1秒間に何回行うかを示す数値。音楽CDの場合は44.1kHz。一般的にサンプリング周波数が高いほど高音質となる。	「お使いになる前に編」21
ビットレート	1秒間にどのくらいの情報量があるかを示す数値。ビットレートが高いほど高音質となる。	「お使いになる前に編」21